第5章 便利な機能

ページ

親機の待機画面を変える ………… 5-2

通話内容や伝言メモを録音する（親機）
- 通話内容を録音する ………… 5-3
- 伝言メモを録音する ………… 5-3

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機） ‥ 5-4

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）
- 読上げボイス設定を解除／設定する ………… 5-5

伝言アラームを利用する（親機）
- 伝言アラームを設定する ………… 5-6
- 伝言アラームを消去する ………… 5-7

モーニングコールを利用する（子機）
- モーニングコールを設定する ………… 5-8
- モーニングコールを解除する ………… 5-8

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）
- オリジナルメロディーについて ………… 5-9
- オリジナルメロディーを作る ………… 5-10
- オリジナルメロディーを入力する ………… 5-11
- オリジナルメロディーを変更／修正する ………… 5-13
- オリジナルメロディーの作成例 ………… 5-14

親機をもっと便利に使う
- FAX受信方法を選ぶ ………… 5-15
- 終了音を鳴らす ………… 5-15
- キータッチ音を鳴らす ………… 5-15

子機をもっと便利に使う
- クイック通話を設定する ………… 5-16
- キータッチ音を鳴らす ………… 5-16
- 待ち受け時間を選ぶ ………… 5-16

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）
- 暗証番号を登録する ………… 5-17
- 外出先からリモート操作する ………… 5-18

子機を増設する（増設子機） ………… 5-20

電話機を増設する（増設電話機）
- 増設電話機を接続する ………… 5-21
- 増設電話機で電話をかける ………… 5-21
- 増設電話機で電話を受ける ………… 5-21

ページ

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知） ………… 5-22

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送） ‥ 5-23

プッシュホンのサービスを利用する
- 親機でプッシュホンサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時） ………… 5-24
- 子機でプッシュホンサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時） ………… 5-24

キャッチホンを利用する
- 親機でキャッチホンを利用する ………… 5-25
- 子機でキャッチホンを利用する ………… 5-25

メッセージ到着お知らせサービスを利用する（親機）
- キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったら ………… 5-26

からくり時計を利用する（親機）
- からくり時計を設定／変更する ………… 5-27

カレンダー機能を利用する（親機）
- カレンダーに予定を登録する ………… 5-29
- 予定の名前を変える ………… 5-30
- 予定を取り消す ………… 5-30
- 予定（行事）マーク一覧 ………… 5-30

ドアホンを接続する
- ドアホンをつなぐとき ………… 5-31
- カメラ付ドアホンをつなぐとき ………… 5-32

ドアホンと話す（ドアホン通話）
- 親機で話すときは ………… 5-33
- 子機で話すときは ………… 5-33
- 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると ………… 5-34
- 親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると ………… 5-34
- 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると ………… 5-34
- 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると ‥ 5-34
- 子機でドアホン通話中に電話がかかってくると ………… 5-35
- 子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると ………… 5-35
- 子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると ………… 5-35
- 子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると ‥ 5-35

親機の待機画面を変える

親機の待機画面は、はじめ「からくり時計」になっていますが、「内蔵アニメーション」、「カレンダー」、「ダウンロード画像（Ｌモードからダウンロードした画像）」に変えることができます。

操作のしかた

1 登録 を押し、▲または▼で「画面設定」を選ぶ

登録設定
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
6 画面設定
で選択, [/決定] で決定
戻る

2 /決定 を押し、▲または▼で「待機画面設定」を選ぶ

画面設定
1 液晶コントラスト調整
2 待機画面設定
3 バックライト消灯時間設定
で選択, [/決定] で決定
戻る

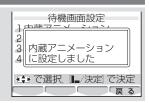
3 /決定 を押し、▲または▼で表示させたい画像を選ぶ

● 「ダウンロード画像」は、あらかじめLモードで待機画面用として登録しておかないと表示されません。（☞6-70～6-71ページ）

内蔵アニメーション

からくり時計

カレンダー

4 /決定 を押す

5 停止 を押す

●待機画面に表示されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **登録したダウンロード画像を変更するときは**

ダウンロード画像を変更するときは、もう１度待機画面に登録（☞6-70～6-71ページ）すると書き換えられます。書き換えせずにダウンロード画像を消去することはできません。

■ **からくり時計機能を使うときは（☞5-27～5-28ページ）**

■ **カレンダーに予定を登録するときは（☞5-29～5-30ページ）**

お知らせ

● からくり時計機能（☞5-27～5-28ページ）を「停止」以外に設定している場合、設定された時刻にはからくり時計機能が動作し、画面の表示が変わります。

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約20分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

通話内容を録音する

操作のしかた

1 通話中に
機能選択 を押し
▲ または ▼ で「メモ録音・通話録音」を選び、決定 を押す

通話録音中
［停止］で終了

●内線通話中は、通話録音できません。

2 録音をやめるときは 停止 を押す

●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（タイムスタンプ機能）

伝言メモを録音する

操作のしかた

1 受話器を取る

2 機能選択 を押し
▲ または ▼ で「メモ録音・通話録音」を選ぶ

3 決定 を押したあと、受話器で伝言を話す

4 話し終わったら
停止 を押してから、受話器を置く

●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（タイムスタンプ機能）

■ **録音内容を再生するときは（☞4-6～4-7ページ）**

■ **録音内容を消去するときは（☞4-8ページ）**

お知らせ

- 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データなどがあると録音できる時間が少なくなります。

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ◁ **を押す**

●最後にかけた相手の方を表示します。

2 ▲**または**▼**で登録する電話番号を選んだあと、**機能**を押す**

3 名前を入れる（最大12文字）
（☞1-43〜1-46ページ）

●名前の入力を省略するときは手順４へ進みます。

4 機能 **を押す**

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ

● 親機では再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

読上げボイス設定を解除／設定する

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの音声（読上げボイス）でお知らせします。工場出荷時は読上げボイス設定が「あり」になっています。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押し、▲または▼で「読上げボイス設定」を選ぶ

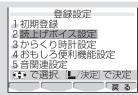
2 /決定 を押し、▲または▼で「なし」を選ぶ

●設定するときは「あり」を選びます。

3 /決定 を押す

4 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る を押します

■ **読上げボイスダイヤル機能を利用するときは**

手順 2 で「あり」を選びます。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

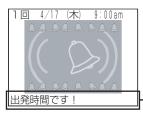
「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-32ページ）

お知らせ

- 受話器を取った状態やオンフックボタンを押した状態では、設定を変更できません。
- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
- ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を解除／設定することはできません。

伝言アラームを利用する（親機）

伝言アラームを設定する

伝言アラームを設定しておくと、設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アニメーションとお好きなメッセージを画面に表示してお知らせします。

この部分にお好きなメッセージを表示できます。

操作のしかた

1 登録 を押し、▲または▼で「おもしろ便利機能設定」を選ぶ

登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択，[/決定]で決定
戻る

2 /決定 を押し、▲または▼で「伝言アラーム」を選ぶ

おもしろ便利機能設定
1 誰からメール
2 伝言アラーム
で選択，[/決定]で決定
戻る

3 /決定 を押し、▲または▼でアラームの登録先を選ぶ

アラーム設定
1 ---------------------
2 ---------------------
3 ---------------------
4 ---------------------
5 ---------------------
で選択，[/決定]で決定
戻る

●5件まで登録できます。

4 /決定 を押し、▲または▼でアラームの種類を選ぶ

アラーム設定
1 1回
2 毎日
3 毎週
で選択，[/決定]で決定
戻る

アラームの種類

「1回」………入力した曜日・時刻（1週間以内）に伝言アラームを設定できます。
「毎日」………毎日決まった時刻に伝言アラームを設定できます。
「毎週」………毎週決まった曜日の決まった時刻に伝言アラームを設定できます。

5 手順4で…

「1回」「毎週」を選んだときは
→手順6へ
「毎日」を選んだときは
→手順7へ

6 /決定 を押し、▲または▼でアラームを動作させる曜日を選ぶ

アラーム設定
1 月曜日
2 火曜日
3 水曜日
4 木曜日
5 金曜日
で選択，[/決定]で決定
戻る

●手順4で「1回」を選んだときは、ここで設定した曜日は登録した日付から1週間以内のものとなります。

7 /決定 を押し、アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で4ケタ入力します）

アラーム設定
時刻 09:00
[ダイヤル]で変更，[/決定]で決
戻る

8 画面表示させるメッセージを入力する

（☞1-38～1-42ページ）

<アラーム設定>　[漢/かな]
出発時間です！
>
[ダイヤル]で文字入力，[取消]で
文字切替　取消

●最大全角13文字（半角26文字）まで入力できます。
●メッセージを表示させないときは、何も入力せずに手順9へ進みます。

9 入力が終わったら /決定 を押し、▲または▼でアラーム音色を選ぶ

アラーム設定
1 春の歌
2 トルコ行進曲
3 森のくまさん
4 ---------------------
5 ---------------------
で選択，[/決定]で決定
戻る

固定メロディー	1	春の歌
	2	トルコ行進曲
	3	森のくまさん
「Lモード」からのダウンロード※	4	（ダウンロードメロディー1）
	5	（ダウンロードメロディー2）
	6	（ダウンロードメロディー3）

※4～6の呼出音は、「Lモード」からメロディーをダウンロードした場合に表示されます。

次ページへ→

→つづき

10 [/決定] を押す

●設定したアラームを登録します。

●しばらくすると、登録内容が表示されます。「１回」のときは、入力した曜日に応じた日付が表示されます。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

[戻る] を押します。

11 [停止] を押す

■**登録したアラームの項目を変更するには**

① 手順１～２の操作を行う

② [/決定] を押し、[▲] または [▼] で変更したいアラームの項目を選ぶ

③ 手順４～11の操作を行う
各項目を設定し直してください。

[設定の表示例]

「１回」の設定は、設定した日時に動作したあと自動的に消去されます。

伝言アラームを消去する

操作のしかた

1 「伝言アラームを設定する」の手順１～２を操作する

2 [/決定] を押し、[▲] または [▼] で消去したいアラームの項目を選ぶ

3 [キャッチ/消去] を押す

4 もう一度、[キャッチ/消去] を押す

5 [停止] を押す

お知らせ

- 伝言アラームの種類を「１回」に設定したときは、日付の指定はできません。また、設定した日から１週間より先には設定できません。
- アラーム音の音量は親機の呼出音量に連動しています。変更するときは、親機の呼出音量を変更してください。（☞1-27ページ）
- 伝言アラームの動作時間は約50秒間です。
- 設定時刻に親機を使っていると（通話やコピーなど）、親機の動作が終了してから伝言アラームが動作します。
- 伝言アラームが動作中に、受話器を取るなど、何らかの操作を行うと、アラームの動作は停止し親機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合も、アラームの動作は一時停止します。
- 伝言アラームの日付・時刻の設定は、親機の日付・時刻設定が基準となります。
- 親機の日付・時刻の設定が、正しく合っていないと、伝言アラーム設定を行っても正しい時間にアラームは動作しません。親機の日付・時刻の設定を合わせてから（☞1-34ページ）、伝言アラームを設定してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
- 複数のアラームを同じ時刻に設定しているときは、登録先の番号の小さいものから順に起動します。

モーニングコールを利用する（子機）

モーニングコールを設定する

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（約5分間隔で1分間鳴り7回くり返します。）

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押し、▲または▼で「アラームセッテイ」を選ぶ

表示：アラームセッテイ

2 機能 を押し、◀または▶で「ON」を選ぶ

表示：▶ON OFF

3 機能 を押す

表示：00:00

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で4ケタ入力します）

表示：07:00

● すでに設定している時刻を変更するときは、◀または▶で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 機能 を押す

● マークが表示されます。

表示：07:00

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **モーニングコールの音を途中で止めるときは**

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約5分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

モーニングコールを解除する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押し、▲または▼で「アラームセッテイ」を選ぶ

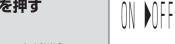
表示：アラームセッテイ

2 機能 を押し、◀または▶で「OFF」を選ぶ

表示：ON ▶OFF

3 機能 を押す

● マークが消えます。

表示：ON ▶OFF

お知らせ

● 子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞1-35ページ）、モーニングコールを設定してください。

● アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

オリジナルメロディーについて

子機では、電話がかかってきたときの呼出音メロディーを自分で作成することができます。（着信メロディー作曲機能）
作成したメロディーは、子機の呼出音としてお使いいただけます。

■入力できる音の高さ
次の高さの音が入力できます。（3オクターブの範囲です。半音も使えます。）

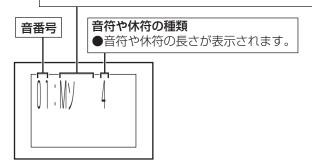
■入力できる音符・休符
次の音符や休符が入力できます。

ディスプレイ表示	音符	休符	長さ	ディスプレイ表示	音符	休符	長さ
1	𝅝	𝄻	全音符（休符）	4.	𝅘𝅥.	𝄽.	付点4分音符（休符）
16	𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	2	𝅗𝅥	𝄼	2分音符（休符）
16.	𝅘𝅥𝅯.	𝄿.	付点16分音符（休符）	2.	𝅗𝅥.	𝄼.	付点2分音符（休符）
8	𝅘𝅥𝅮	𝄾	8分音符（休符）	16_3	𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 (3)	—	16分3連符
8.	𝅘𝅥𝅮.	𝄾.	付点8分音符（休符）	8_3	𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮 (3)	—	8分3連符
4	𝅘𝅥	𝄽	4分音符（休符）	4_3	𝅘𝅥𝅘𝅥𝅘𝅥 (3)	—	4分3連符

■入力画面のしくみ

音の高さ
●中音は「M」、高音は「H」、低音は「L」が表示されます。
●半音高い音は、「♯」が表示されます。
（半音低い「♭」の表示はありません。）
●休符は、「・・・・」が表示されます。
●スラーは、「―――>」が表示されます。

5 便利な機能

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

オリジナルメロディーを作る

呼出音（オリジナルメロディー）を作る操作です。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) **を押し、(▲) または (▼) で「メロディトウロク」を選ぶ**

メロディトウロク

2 (機能) **を押す**

3 ダイヤルボタンでテンポを入力する（40〜190）

- ●はじめは120になっています。（数値が大きい方がテンポが速くなります。）
- ●(▲) または (▼) で、テンポを調整することもできます。このときは４テンポ間隔となります。（最小40、最大190まで）
- ●(◀) または (▶) でカーソルを動かせます。

4 (機能) **を押す**

- ●メロディーの入力画面になります。

5 ダイヤルボタンでメロディーを入力する

- ●5-11ページのメロディーの入力方法を参照して、メロディーを入力してください。

6 次の音を入力するときは

(▼) **を押す**

- ●音符や休符の種類を指定したあとや１つ前の音とちがうボタンで音の高さや休符を指定するときは、この操作は必要ありません。

7 手順５〜６をくり返して、すべてのメロディーを入力する（最大60音）

- ●メロディーを途中で確認するときは、カナ/キャッチボタンを押すと、入力したところまでのメロディーが確認できます。
- ●メロディーを修正するときは、(▲) または (▼) で、修正したい音を表示させたあと、クリアボタンを押して入れ直します。

8 すべてのメロディーを入力したら

(機能) **を押す**

- ●作り終わったオリジナルメロディーをすぐに変更するときは、このあと (▲) または (▼) で、「ヘンコウ」を選んだあと、機能ボタンを押すと、手順３に戻ります。

9 (▲) **または** (▼) **で「トウロク」を選び、**(機能)**を押す**

トウロクシマシタ

- ●このあと、待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

オリジナルメロディーを入力する

メロディーを入力するには、ダイヤルボタンを使って、音の高さ（ド～シ）や休符、音の長さを入力します。各ダイヤルボタンには音の高さ（ド～シ）や休符、音の長さを入力できるように割り当てられています。ボタンを押すごとに、入力が切り替わります。（入力割り当て表 ☞5-12ページ）

音の高さや休符を指定する

メロディーの入力画面にしたあと、ダイヤルボタンで入力します。

●ボタンを１回押すと、中音で４分音符が指定されます。
同じボタンをくり返し押すと、同じ音で半音や１オクターブ上または下の音が入力できます。
（例）中音「ソ」４分音符

（9）／（＊）／（＃）は、音符や休符を選んでいるときのみ有効となります。

■ **作ったメロディーを利用するときは**

「子機の呼出音の種類を変える」（☞1-31ページ）の手順３でオリジナルメロディーを選びます。

■ **オリジナルメロディーを消去するときは**

① （機能）を押し、（▲）または（▼）で「メロディショウキョ」を選ぶ

② （機能）を押す

③ もう一度、（機能）を押す

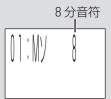
お知らせ

● 登録中に電話がかかってくると、入力中のメロディーは、登録されません。はじめからやり直してください。

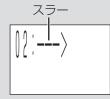
● 操作の途中で１分以上何もしないでおくと、待機画面に戻ります。このときは、はじめからやり直してください。

音符や休符の種類を指定する

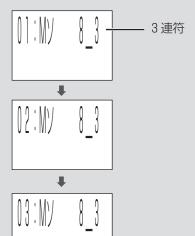
（＊）または（＃）をくり返し押し、音符や休符の種類を指定します。

●休符の場合も、音符の指定と同様になります。
（例）中音「ソ」８分音符

音をのばすとき（スラーの指定）

音符を選んだあと、（8）を押します。

●「―――>」が表示されます。
次の音となめらかにつながるようになります。

符点付きの音符や３連符にするとき

音符を選んだあと、（9）を押し付点や３連符を指定します。

（例）中音「ソ」の８分の３連符（♫）の場合３連符を指定した「ソ」を３つ入力します。

■入力割り当て表

押すボタン	音階	表示（M：中音／H：高音／L低音／#：半音）
1	ド	Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド#
2	レ	Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ#
3	ミ	Mミ → Hミ → Lミ
4	ファ	Mファ→Mファ#→Hファ→Hファ#→Lファ→Lファ#
5	ソ	Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ#
6	ラ	Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ#
7	シ	Mシ → Hシ → Lシ
8		ーーー>（スラー） → （スラーなし）
9		※1 .（付点） → ※2 __3（3連符） → （なし）
0	休符	・・・・
＊		8（8分音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 2（2分音符／休符） → 4（4分音符／休符）
#		2（2分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 8（8分音符／休符） → 4（4分音符／休符）

※1 付点は、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

※2 3連符は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

メロディーを入力中に次のボタンを使って、メロディーの確認や変更ができます。

押すボタン	機　　能
内線/クリア 保留	<短く押す>選択中の1音を削除 <2秒以上押す>全音削除
カナ/キャッチ	メロディー確認
▲ または ▼	音符スクロール

お知らせ

- 「ミ」または「シ」は、半音上げることはできません。
- 「♯：シャープ」は、音を半音上げます。「♭：フラット」は、半音下げます。「♭」にするときは、1つ下の音階を入力したあと、半音上げてください。（例：「Mシ♭」は「Mラ♯」と入力します。）

オリジナルメロディーを変更／修正する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 「オリジナルメロディーを作る」（☞5-10ページ）の手順 1 ～ 2 を行う

2 ダイヤルボタンでテンポを変更したあと、機能を押す

- ▲または▼で、テンポを調整することもできます。（最小40から最大190まで、4テンポ間隔）
- ◀または▶でカーソルを動かせます。
- メロディー変更画面になります。

3 ▲または▼で変更したい音を選ぶ

4 音を変更する

音符や休符を変更するとき

音長を変更する ▶ トーン＊ または #

付点や 3 連符を変更する ▶ 9

- 音の高さを変えたり、音符を休符、休符を音符に変更することはできません。
いったん消去したあと、正しい音符や休符を追加してください。

音符または休符を追加するとき

音を追加する ▶ 1 ～ 7

休符を追加する ▶ 0

- 選んだ音の前に、新しい音が追加されます。
- すでに60音入力されているときは、追加できません。

音符または休符を消去するとき

内線/クリア 保留 を押す（短く押す）

- 選んだ音の 1 音が消去されます。
スラー付きの音を消去すると、スラーも消去されます。
- クリアボタンを 2 秒以上押し続けると、すべての音が消去されます。

5 変更が終わったら

機能 **を押す**

6 ▲または▼で「トウロク」を選び、機能を押す

トウロクシマシタ

- このあと、待機画面に戻ります。

■ **新しくメロディーを登録したいときは**

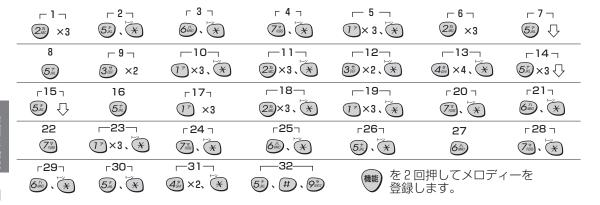
すでに登録されているオリジナルメロディーを消去してから（☞5-11ページ）、「オリジナルメロディーを作る」（☞5-10ページ）の手順で作り直します。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

オリジナルメロディーの作成例

次の曲を登録する場合のボタン操作を示します。（例：メヌエット　バッハ作曲より）

「オリジナルメロディーを作る」（☞5-10ページ）の手順 4 ～ 7 の操作で下記のようにダイヤルボタンを押すと上の曲が入力できます。（×数字は、ボタンを押す回数です。⇩ は同じ音が続くので ▼ を押してから次の音符を入力することを表しています。）

親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの▲または▼で選びます。

（例）

FAX受信方法を選ぶ

工場出荷時は［網かけ］に設定されています。

はたらき	ファクスを受信するときの方法を選びます。 ・**見てからプリント**　いったんメモリーに記録し、内容を画面に表示して確認することができます。 ・**メモリー受信**　ファクスをメモリー受信してから自動的にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。 ・**記録紙受信**　直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。
手順	親機で設定します ［登録］→「**詳細設定**」を選ぶ→［/決定］→「**FAX／コピー**」を選ぶ→［/決定］→ →「**FAX受信方法**」を選ぶ→［/決定］→ 1：見てからプリント　2：メモリー受信　3：記録紙受信　から選ぶ →［/決定］→［停止］

終了音を鳴らす

はたらき	コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音の種類を選びます。 ・**鳥の声**　「鳥の声」でお知らせします。 ・**アラーム音**　「ピー音」でお知らせします。 ・**なし**　終了音を鳴らしません。
手順	親機で設定します ［登録］→「**詳細設定**」を選ぶ→［/決定］→「**FAX／コピー**」を選ぶ→［/決定］→ →「**終了音**」を選ぶ→［/決定］→ 1：鳥の声　2：アラーム音　3：なし　から選ぶ →［/決定］→［停止］

キータッチ音を鳴らす

はたらき	親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**あり**　親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**なし**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。
手順	親機で設定します ［登録］→「**詳細設定**」を選ぶ→［/決定］→「**キータッチ音**」を選ぶ→［/決定］→ → 1：あり　2：なし　のどちらかを選ぶ →［/決定］→［停止］

■ **途中でやめるときは**

［停止］を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

［戻る］を押します。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録・設定をすることができます。

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの（▲）または（▼）で選びます。

（例）　ヨウケンサイセイ　→（▼）を押す→　ユウセンヨビダシ

クイック通話を設定する

工場出荷時は［ON］に設定されています。

はたらき	子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。 ・ON　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 ・OFF　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。
手順	子機で設定します。 通話ボタンを消灯した状態で → 機能 → 「**クイックツウワ**」を選ぶ → 機能 ⇒ ⇒ マルチファンクションキーの（◀）または（▶）で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ → 機能

キータッチ音を鳴らす

はたらき	子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・ON　子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・OFF　「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。
手順	子機で設定します。 通話ボタンを消灯した状態で → 機能 → 「**キータッチトーン**」を選ぶ → 機能 ⇒ ⇒ マルチファンクションキーの（◀）または（▶）で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ 機能

待ち受け時間を選ぶ

はたらき	充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。 ・**ヒョウジュン**　待ち受け時間は約200時間になります。 ・**チョウジカン**　待ち受け時間は約240時間になります。（「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。
手順	子機で設定します。 通話ボタンを消灯した状態で → 機能 → 「**マチウケジカン**」を選ぶ 機能 ⇒ マルチファンクションキーの（▲）または（▼）で 「**ヒョウジュン**」「**チョウジカン**」のどちらかを選ぶ 機能

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

暗証番号を登録する

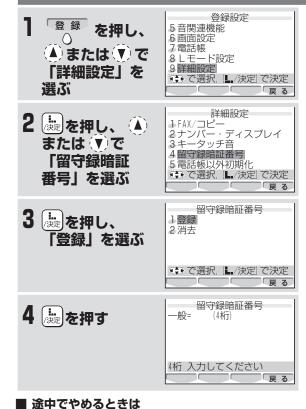
外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 [登録] を押し、▲または▼で「詳細設定」を選ぶ

2 [/決定] を押し、▲または▼で「留守録暗証番号」を選ぶ

3 [/決定] を押し、「登録」を選ぶ

4 [/決定] を押す

5 暗証番号を入れる（４ケタ）

●番号を押しまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

6 [/決定] を押す

7 [停止] を押す

■ **途中でやめるときは**

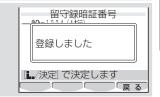
[停止] を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

[戻る] または [取消] を押します。

■ **登録した暗証番号を消すときは**

① 手順３で「消去」を選ぶ

② [/決定] を２回押す

③ [停止] を押す

■ **暗証番号を変えるときは**

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録(上書き)しても、録音内容は消えません。

外出先からリモート操作する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 自宅に電話をかける

●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

2 応答メッセージが聞こえている間に [#] を押す

● [#] を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 [#] を押してください。

3 暗証番号（4ケタ）を押す

[1] [2] [3]
[4] [5] [6]
[7] [8] [9]
[0]

4 [#] を押す

5 音声メッセージを聞いたあと **リモート操作番号を押す**

[1] [2] [3]
[4] [5] [6]
[7] [8] [9]
[＊] [0] [#]

（例）録音内容を聞くときは、
[1] [#] と押します。

6 リモート操作が終わったら **電話を切る**

■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の１件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

■ 暗証番号を押すときは

● 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順３からやり直してください。

● 番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

留守設定 ▼（3件目と4件目の間）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

●留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。☞4-4ページ）

■ トールセーバー機能の使いかた

呼出音が２回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。
３回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

お知らせ

● 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。
（☞9-37～9-38ページ）

● 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。

● 操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）

● 親機が在宅モードで「在宅時コール回数」が「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

- 子機は、付属の子機以外に 3 台まで、UX-W31CWは 2 台まで増設することができます。

子機を増設しても子機間通話はできません

- 増設できる子機はCJ-KS4、CJ-KS7、CJ-KS5、CJ-KS3、CJ-KS2、CJ-KS1、CJ-KV75、UX-KF3CL、UX-KF1CLです。また、BS／CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。（増設登録手順タイプＡと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-W31CL/CWに増設した場合の機能比較

機能名 ＼ 機種名		付属の子機	CJ-KS4	CJ-KS7	CJ-KS5	CJ-KS3	CJ-KS2	CJ-KS1	CJ-KV75	UX-KF3CL	UX-KF1CL	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	×※1	×※1	○（50人）	○（100人）	○（100人）	2-22
	再ダイヤル	○（3件）	○（3件）	○（10件）	○（10件）	○（3件）	○	○	○	○	○	2-31
	ダイヤルボタン点灯	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	——
	優先呼出	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	2-9
	モーニングコール	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	5-8
	子機間ひと声通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5-22
	子機間通話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	——
	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	1-33
	スピーカーホン通話	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	2-7
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	7-2
	着信記録	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	7-8
	着信鳴り分け	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	7-22

※1　短縮ダイヤルとして、10件まで記憶させることができます。

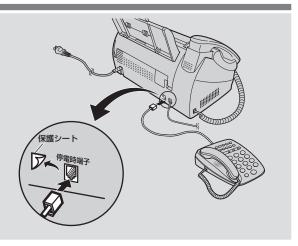
電話機を増設する（増設電話機）

お手持ちの電話機を停電時端子に接続することができます。
接続される電話機は停電時でも通話ができる電話機を接続することをおすすめします。

増設電話機を接続する

操作のしかた

1 停電時端子に接続する

●保護シートをはがし、電話機の接続コードを、親機の停電時端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

増設電話機で電話をかける

操作のしかた

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

増設電話機で電話を受ける

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら **受話器を取ってお話しする**

2 通話が終わったら **受話器を戻す**

お知らせ

- 親機と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- 停電時端子には、電話機を１台しか接続できません。また、コードレス電話機は接続できません。
- 増設した電話機で受けたあとファクスに切り替えることはできません。
- 電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなるものがあります。
- ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

子機から子機へメッセージを伝えることができます。
（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

操作のしかた

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 を押す

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

●通話ボタンが点滅します。

●呼び出した子機が応答するまで「プププ・・・・」と鳴ります。

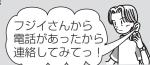
3 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

フジイさんから電話があったから連絡してみてっ！

●呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが終わったら
切 **を押す**

●この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送）

子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

操作のしかた

1 子 機

子機で外線通話中に

内線/クリア 保留 **を押す**

2 子 機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 外線通話中の相手の方には保留メロディが流れます。
- 呼び出した子機が応答するまで「ププププ・・・・」と鳴ります。
- 通話ボタンが点滅します。

3 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、

充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

4 子 機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

フジイさんから電話がかかってきたから出て！

- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子 機

メッセージを話し終わったら

子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

7 呼び出された子機

通話 **を押す**

または

内線/クリア 保留 **を押す**

- 外の相手の方と通話できます。

■ 呼び出している子機が出ないときは

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外の相手の方との通話に戻ります。

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でもトーンボタンを押すと、プッシュ回線と同じトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出すことができますので、交通機関の予約や銀行の残高照合などのプッシュホンサービスを利用できます。

親機でプッシュホンサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 受話器を取る

2 各種サービスにダイヤルする

3 （トーン）を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 （通話）を押す

- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 （トーン）を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、（トーン）（親機の場合）または（トーン）（子機の場合）を押すと、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。

キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつです。電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができます。
キャッチホンサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

親機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に呼出音が聞こえたら

キャッチ/消去 **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイ（☞7-8〜7-11ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

2 もとの通話に戻るときはもう一度

キャッチ/消去 **を押す**

子機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に呼出音が聞こえたら

カナ/キャッチ **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイ（☞7-8〜7-11ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

2 もとの通話に戻るときはもう一度

カナ/キャッチ **を押す**

お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中、「Lモード」との通信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞7-8〜7-11ページ）

メッセージ到着お知らせサービスを利用する（親機）

メッセージ到着お知らせサービスは、キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったことをお知らせするサービスです。
また、「Ｌモード」ご利用時には新着メールが届いたことをお知らせします。（☞6-27～6-28ページ）

マジックボックスやキャッチホンⅡ、メッセージ到着お知らせサービスは、NTTとの契約が必要です。詳しくは局番なしの116番または、NTTの営業所等へお問い合わせください。

キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったら

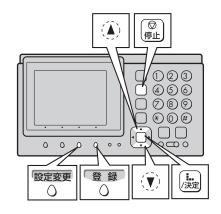
メッセージ到着お知らせサービスを利用すると、キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージが、メッセージセンタに入ると、親機のディスプレイに「メッセージあり1」と表示し、お知らせランプが赤色に点灯します。（メッセージ有り通知）
メッセージ有り通知の着信履歴は「センタ1　M1」と表示されます。この場合、キャッチホンⅡやマジックボックス（センタ1）に音声メッセージ（M1）が入ったことを意味しています。

お知らせ

- メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「使用する」になっていることを確認してください。（☞7-3ページ）メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイを契約されていなくても利用することができます。
- 通話中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
- 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
- 停電中にメッセージ消去通知を受信したり電話がかかってきたりすると応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は電話を切ってください。再度呼出音が聞こえたら応答してください。
- メッセージ有り通知を表示中に停電し、その後復旧してもメッセージの表示は戻りません。
- メッセージ到着お知らせサービスで146をダイヤルし、メッセージを聞いた後、そのメッセージを削除してもメッセージ有りの表示は消えません。メッセージ有りの表示は、メッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。

からくり時計を利用する（親機）

からくり時計を設定／変更する

決まった時刻（毎時０分）になると、液晶ディスプレイにキャラクターのアニメーションを表示したり、メロディーなどを演奏することができます。
時間ごとにアニメーション表示とメロディー演奏をするかどうかの動作を設定することができます。

操作のしかた

1 登録 を押し、▲または▼で「からくり時計設定」を選ぶ

登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択，[/決定] で決定
戻る

2 /決定 を押し、▲または▼で「定時動作選択」を選ぶ

からくり時計設定
1 定時動作選択
2 メロディー選択
で選択，[/決定] で決定
戻る

3 /決定 を押す

からくり時計設定
14:00 表示あり／メロディーあり
15:00 表示あり／メロディーあり
16:00 表示あり／メロディーあり
17:00 表示あり／メロディーあり
18:00 表示あり／メロディーあり
[設定変更] で変更，[/決定] て
全動作 全停止 設定変更 戻る

●表示あり／メロディーあり…アニメーションを表示し、メロディーを鳴らします。
表示あり／メロディーなし…アニメーションを表示し、メロディーは鳴りません。
停止…アニメーションもメロディーも動作しません。

工場出荷時は下記の設定になっています。
7:00〜21:00…表示あり／メロディーあり
22:00〜6:00…停止

4 ▲または▼で設定したい時間を選ぶ

5 設定変更 を数回押して、動作を選ぶ

●設定変更ボタンを押すたびに動作メニューが切り替わります。
（表示あり／メロディーあり→表示あり／メロディーなし→停止→表示あり／メロディーあり→…）

6 /決定 を押す

7 停止 を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ １つ前に戻るときは

戻る を押します。

■ 演奏するメロディーを変更するときは

① 登録 を押し、▲ または ▼ で「からくり時計設定」を選ぶ

② 決定 を押し、▲ または ▼ で「メロディー選択」を選ぶ

③ 決定 を押し、▲ または ▼ でメロディーを選ぶ

④ 決定 を押し、▲ または ▼ で「登録する」を選ぶ

⑤ 決定 を押す

④で「演奏する」を選び 決定 を押すと、選んだメロディーを聞くことができます。

Ｌモードでダウンロードした曲も演奏できます。

⑥ 停止 を押す

■ 全ての時間の動作を一括で設定するときは

①「からくり時計を設定／変更する」の手順３まで操作を行う

② 全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をするときは 全動作 を押す

全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をしないときは 全停止 を押す

③ 決定 を押す

④ 停止 を押す

お知らせ

- 親機や子機を使っているとき（通話中やコピー時など）は、からくり時計は動作しません。
- Ｌモードで着信メロディーをダウンロードして、からくり時計のメロディーにすることができます。（着信メロディーダウンロード ☞6-59ページ）
- 設定したメロディーは、すべての時刻で共通です。時刻ごとにちがうメロディーの設定はできません。
- メロディー音の大きさは、親機の呼出音量と連動しています。大きさを変えるときは、「親機の呼出音量を変える」操作で変えてください。（☞1-27ページ）
- 親機の呼出音を「切」にしているときはメロディーは流れません。
- からくり時計が動作するのは毎時０分です。そのほかの時刻に設定することはできません。
- 固定メロディー（「森のくまさん」など）とダウンロードメロディーでは再生回数が異なります。

  ダウンロードメロディー：アニメーション表示終了まで繰り返し

  固定メロディー　：あらかじめ決められている回数で終了（時刻によって再生回数が異なります。また、アニメーション表示の途中でメロディーが終了することもあります）
- 待機画面の設定をからくり時計にしていなくても、本機能ははたらきます。
- 表示やメロディーをありに設定していても、毎時０分から１分以上通話などを行っていた場合は動作が省略されます。（毎時０分から１分以内に操作を終了すればその時点で動作します）
- 時刻は、めやすとしてご利用ください。

  なお、誤差が生じた場合は、日付・時刻の設定（☞1-34ページ）をやり直してください。

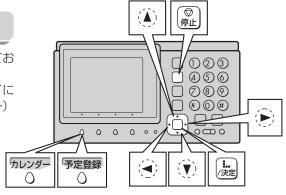
  （時計精度：平均月差±60秒以内）

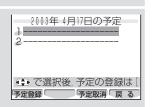
カレンダー機能を利用する（親機）

カレンダーに予定を登録する

親機のカレンダーに1日2件までの予定を登録しておくことができます。（最大100件）
予定を登録した日の前日と当日に液晶ディスプレイに表示してお知らせします。（ファミリーカレンダー）

操作のしかた

1 **を押す**

●すでに予定が登録されている日にはマークが表示されています。

2 ▲▼◀▶で予定を登録したい日を選び、/決定を押す

●前月ボタン、次月ボタンを押すと前の月や次の月を表示できます。
●今日ボタンを押すと当日の月のカレンダーが表示され、当日にカーソル表示されます。

3 予定登録 **を押す**

●予定（行事）のマークは、24種類内蔵されています。
●予定の名前を変更することができます。（☞5-30ページ）

4 ▲▼◀▶で予定を選び、/決定を押す

●続けて2件目を登録するときは▼で2件目を選んでから予定登録ボタンを押してください。

5 停止**を押す**

■ **予定が登録されているときは**

前日と当日、待機画面に予定（掲示板）が表示され、お知らせランプが点灯します。

■ **予定を確認するときは**

① カレンダーを押し、▲▼◀▶で確認したい日を選ぶ

② /決定を押す
登録されている予定が表示されます。

③ 停止を押す

■ **待機画面に掲示板を表示させない（通常の画面にする）ときは**

① カレンダーを押す

② 掲示板削除を押す

③ 停止を押す
日付が変わったり、日付を変更したり、新しく予定を登録・消去すると、また待機画面に掲示板が表示されるようになります。

予定の名前を変える

操作のしかた

1 カレンダー を押し、▲ ▼ ◀ ▶ で予定を登録したい日を選ぶ

2 /決定 を押し、予定登録 を押す

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で名前を変えたい予定（行事）マークを選ぶ

4 予定名変更 を押し、名前（全角6文字／半角12文字まで）を入力し直す（☞1-38〜1-42ページ）

5 /決定 を押す

6 もう一度、/決定 を押す

7 停止 を押す

予定を取り消す

操作のしかた

1 カレンダー を押し、▲ ▼ ◀ ▶ で予定を消去したい日を選ぶ

2 /決定 を押し、▲ または ▼ で消去したい予定を選ぶ

3 予定取消 を押す

4 停止 を押す

予定（行事）マーク一覧

誕生日　結婚記念日　遠足　運動会　参観日　発表会　お弁当　学校行事

出張　飲み会　給料/ボーナス日　ゴミの日　資源ゴミの日　おけいこ　当番　来客

パーティー　おでかけ　旅行　試合　病院　お休み　ﾏｲ・ｽｹｼﾞｭｰﾙ1　ﾏｲ・ｽｹｼﾞｭｰﾙ2

■ **過去の予定をすべて消去するときは**

① キャッチ/消去 を押し、▲ または ▼ で「カレンダー予定消去（過去分のみ）」を選ぶ

② /決定 を押す

③ もう一度、/決定 を押す

④ 停止 を押す

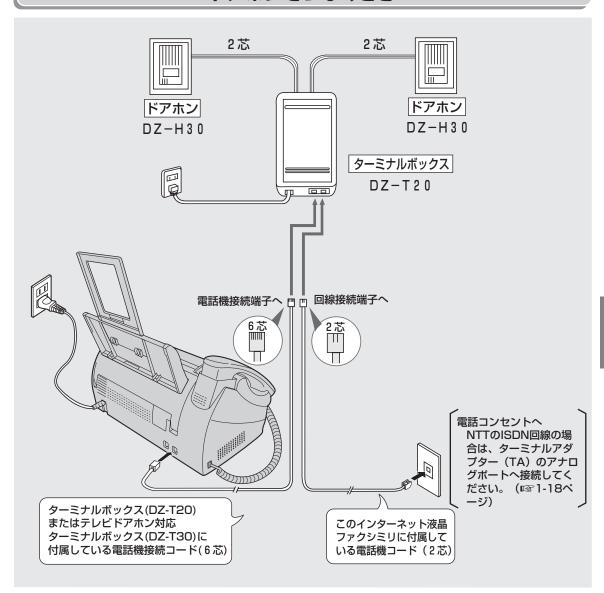
お知らせ

● 登録した予定は、その日が過ぎても自動的には消えません。必要に応じて消去してください。

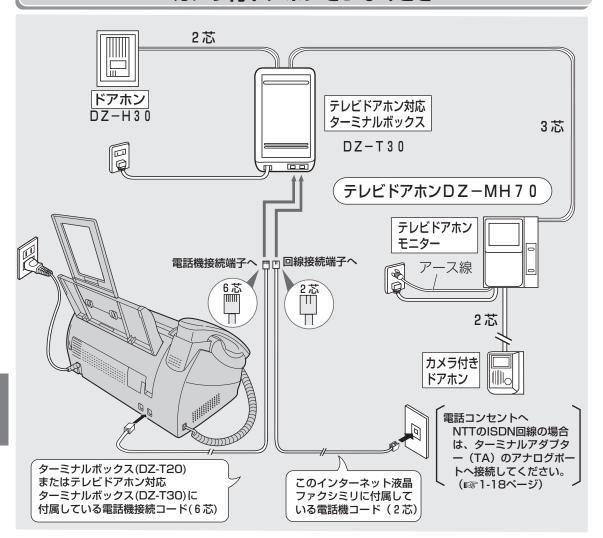
ドアホンを接続する

別売りのターミナルボックス（専用）やドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンをつなぐとき

2芯
2芯
ドアホン
DZ−H30
ドアホン
DZ−H30
ターミナルボックス
DZ−T20
電話機接続端子へ
回線接続端子へ
6芯
2芯
電話コンセントへ
NTTのISDN回線の場合は、ターミナルアダプター（TA）のアナログポートへ接続してください。（☞1-18ページ）
ターミナルボックス(DZ-T20)またはテレビドアホン対応ターミナルボックス(DZ-T30)に付属している電話機接続コード(6芯)
このインターネット液晶ファクシミリに付属している電話機コード（2芯）

お知らせ

- テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
- テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。
- 現在お使いのドアホンが次の機種のときは、専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）
- 増設電話機が接続されていても増設電話機では、お話しすることはできません。（呼出音も鳴りません。）

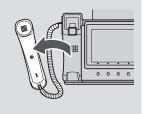
カメラ付ドアホンをつなぐとき

メーカー名（50音順）	適合するドアホン（室外機の機種名） 2003年1月現在
アイホン	IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW　IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC
岩通	ドアホンN
NTT	E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D
松下通信工業	VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U　VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP　VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D　VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A
松下電工	EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A　EJ-106S　EJ-1021B

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

親機で話すときは

1 呼出音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信１」または、「ドアホン着信２」と表示している間（30秒以内）に

受話器を取って通話する

2 通話が終わったら

受話器を戻す

子機で話すときは

1 呼出音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に

を押す

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら

を押す

■ **ドアホンの呼出音について**

ドアホン１とドアホン２からの呼出音は鳴り方が違います。

親機	ドアホン１	ピン ポン
	ドアホン２	ピン ポン ピン ポン
子機	ドアホン１	ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ
	ドアホン２	ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ

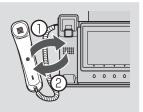
お知らせ

- ● 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ● ドアホン通話の保留はできません。
- ● 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ● ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の呼出音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、親機の呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ● ドアホンの呼出音が「ピンポン」と鳴ったあと約３０秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
- ● ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ● ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら

一度受話器を戻してから、受話器を取る

●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

内線/保留 ◯ **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/保留 ◯ **を押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは

@./-_ 1あ **を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて２回聞こえたときは

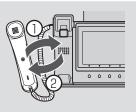
ABC 2か **を押す**

● **1あ または 2か（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

一度受話器を戻してから、受話器を取る

●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら

 を押して、

 を押す

●切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

内線/クリア 保留 **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/クリア 保留 **を 2 回押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう 1 台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と 1 回聞こえたときは

1ア **を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて 2 回聞こえたときは

2カABC **を押す**

● **1ア または 2カABC （またはキャッチボタン）を押すごとに、2 台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

切 **を押して、子機にドアホンの呼出音が聞こえたら**

通話 **を押す**

●切ボタンを押すと、内線通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、ドアホン通話になります。

第6章
Ｌモード

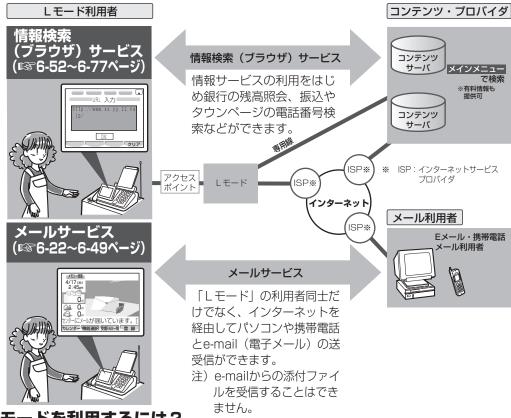
ページ

Ｌモードについて
Ｌモードって何？ ・・・・・・・・・・・・・・ 6-2
Ｌモードを郵送で申し込む ・・・・・・・・・・ 6-2
Ｌモードを親機の操作で申し込む ・・・・・・ 6-3
はじめてＬモードを利用する
Ｌモードを利用設定する ・・・・・・・・・・・ 6-5
Ｌモードのトップメニューについて ・・・・・ 6-6
Ｌモード利用時のディスプレイ表示 ・・・・・ 6-7
Ｌモード利用時の文字入力について
文字入力モード画面について ・・・・・・・・・ 6-8
文字入力モードの切替え ・・・・・・・・・・・ 6-8
絵文字一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-8
文字を入力する ・・・・・・・・・・・・・・・ 6-9
パスワードを変更/入力する
パスワードを変更する ・・・・・・・・・・・・ 6-11
パスワードを入力する ・・・・・・・・・・・・ 6-13
マイアドレスを変更する ・・・・・・・・・・・ 6-14
迷惑メールを防止する
着信お断りメールのアドレスを登録する ・・・ 6-16
Ｌモードを便利に使う
メール自動受信 ・・・・・・・・・・・・・・・ 6-18
切り忘れ防止タイマー ・・・・・・・・・・・・ 6-18
端末機器自動設定 ・・・・・・・・・・・・・・ 6-19
センター番号確認 ・・・・・・・・・・・・・・ 6-19
証明書設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-19
電話帳データ送信 ・・・・・・・・・・・・・・ 6-20
お気に入りデータ送信 ・・・・・・・・・・・・ 6-20
画像表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-20

Ｌモードについて

Ｌモードって何？

Ｌモードは、Ｌモード対応の電話機やファクシミリを使って情報検索やメールの送受信をご利用いただけるサービスです。このサービスをご利用いただくには、NTTと利用契約をする必要があります。また、Ｌモードサービスをご利用時は、必ずナンバー・ディスプレイの設定（☞7-3ページ）を「使用する」に設定したままお使いください。工場出荷時は「使用する」に設定されています。

Ｌモードのしくみ

Ｌモードを利用するには？

Ｌモードを申し込むには、付属の申込書を郵送する方法と、親機の操作で申し込む方法があります。（送料・通信料は無料です。）ご購入店等ですでに申込書を書かれた場合は必要ありません。

Ｌモードを郵送で申し込む

1 NTTへ申し込みをする。

利用される場合は必ずNTTへ利用契約を行ってください。

付属の「Ｌモードサービス申込書」に必要事項を記入します。

切手を貼らずにポストへ投函。

数日後、Ｌモード使用説明書が届けられます。（申し込み完了）

Ｌモードの利用開始日は、登録手続きが必要なためNTTが申込書を受領した数日後からとなります。ご利用開始日などの詳細は**局番なしの116番まで**お問い合わせください。

2 ファクスで利用設定をする。

はじめて利用されるときは、まず初めにアクセスポイント電話番号（センター番号）の設定をします。（☞6-5ページ）

Lモードを親機の操作で申し込む

・親機の操作で申し込み窓口に電話をかけて申し込むことができます。通信料は無料です。
　受付時間：午前９時〜午後８時　年中無休（年末年始を除く）

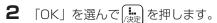
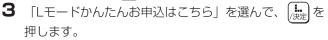
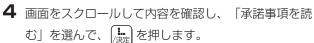
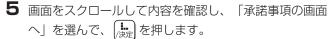
取扱説明書に記載のLモード画面の内容や操作手順は2003年1月現在のもので、予告なく変更される場合があります。

1 [L/決定]を押して、左記の画面が表示されたら「はい」を選んで、[L/決定]を押します。
※ご利用にあたっては、発信者番号が必要です。
「いいえ」を選ぶとお申し込みできません。
※L/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30〜60秒程度かかります。

2 「OK」を選んで[L/決定]を押します。

3 「Lモードかんたんお申込はこちら」を選んで、[L/決定]を押します。

4 画面をスクロールして内容を確認し、「承諾事項を読む」を選んで、[L/決定]を押します。

5 画面をスクロールして内容を確認し、「承諾事項の画面へ」を選んで、[L/決定]を押します。

6 承諾事項が表示されますので、画面をスクロールしてお読みください。ご確認されましたら、「承諾事項を承諾し、Lモードを申し込む」を選んで、[L/決定]を押します。

7 「オペレータに接続する」を選んで、[L/決定]を押します。お申し込みをするためにオペレータに接続します。

8 オペレータへの電話番号が表示されますので、「はい」を選んで[L/決定]を押します。
オペレータに電話がつながります。受話器をあげてオペレータとお話ください。（無料）
必要事項をお伺いしますので、お答えください。お申し込みが終了しましたら、受話器をおろして電話をお切りください。

9 NTTにて工事を行います。
（訪問による工事はありません）

ファクスで、端末機器自動設定をします。（☞6-19ページ）
※初めてLモードをご利用になるときには、まず初めに端末機器自動設定をしてください。

携帯電話のモバイルカメラで撮った画像も見ることができます！

当社は、ジェイフォン(株)の携帯電話向けに「Space Town for J」を提供しています。
この「Space Town for J」の画像送信サービス「ぎゃらも！ラボ」を使うと、携帯電話のモバイルカメラで撮影した写真をLモードを経由して見ることができます。

※ご利用できる携帯電話は、ジェイフォン(株)のJ-SH04/06/07/08/09/51/52です。（2003年1月現在）
※携帯電話で「ぎゃらも！ラボ」サービスをご利用になるには、会員登録が必要です。
基本料金、利用料は無料です。ただし、通信料などはご利用者の負担となります。ご了承ください。
※ファクスで画像を見るための会員登録は必要ありませんが、別途通信料金がかかりますのでご了承ください。

①「ぎゃらも！ラボ」へ送信します

カメラ付き携帯電話

②メッセージとURL付き通知メールが送られます

③届いたURLにアクセスします

※画像形式は「JPEG」を選択してください。画像がよりきれいに見えます。

Lモードの利用料金について

月額使用料…Lモードサービスへ申し込みをされ、利用契約をされると月額使用料がかかります。

通　信　料…「Lモード」へ接続中は通信料がかかります。（接続中は、画面に マークが表示され、「Lモード接続中」ランプが点灯しています。）

詳しくは下記へお問い合わせください。

Lモードサービスの詳しいお問い合わせは
局番なしの **116**番へ

アドバイス！

※**「切り忘れ防止タイマー」**（☞6-18ページ）
この機能は、「Lモード」へ接続中に何も操作しなかった時、自動的に「Lモード」の接続を切断する機能です。
「Lモード」の接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「2分」に設定されています。

※**通信料金を節約してサイト（番組）のページを見る**
インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に（L回線断 キャッチ/消去）を押すと、表示しているページはそのままで、「Lモード」の接続を切断することができます。
通信料金を節約してページを見るときに便利です。

お知らせ

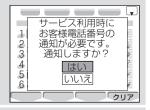
- PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど発信先の電話番号の先頭に0をつける必要がある通信機器を接続した場合は、Lモードをご利用いただけません。

はじめてＬモードを利用する

Ｌモードを郵送や店頭で申し込まれたあと、Ｌモードをはじめてご利用になるには、設定センターからアクセスポイント電話番号（センター番号）を取得し、親機に登録するための操作を行います。Ｌモードを親機の操作で申し込まれた場合（☞6-3～6-4ページ）は、6-19ページの端末機器自動設定をしてください。

Ｌモードを利用設定する

操作のしかた

1 **[L/決定] を押す**

2 **「はい」を選び、[L/決定] を押す**

●「いいえ」を選択し、Ｌ/決定ボタンを押すと「サービスご利用にはお客様電話番号の通知が必要です。」が表示され、サービス利用の設定ができません。「Ｌモード」をご利用になるときは、「はい」が選択されていることを確認し、Ｌ/決定ボタンを押してください。

●自動的に設定センターへ接続され、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得します。

3 **「設定完了」と表示されたら [L/決定] を押す**

●アクセスポイント電話番号（センター番号）の親機への登録が終了します。

4 **「トップメニュー」が表示される**

●Ｌモードのサービスをご利用いただけます。[▲] または [▼] で項目を選んでください。

5 **[停止] を押す**

●待機画面に戻ります。

●「トップメニュー」画面でクリアボタンを押し、「はい」を選んでＬ/決定ボタンを押す、と操作しても待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。

■ **「接続に失敗しました。」と表示されたときは**

端末機器自動設定がうまく設定できませんでした。もう一度操作をやり直してください。または、登録メニューから設定してください。（「端末機器自動設定」☞6-19ページ）
また、「Ｌモード」を契約していないときも表示されます。

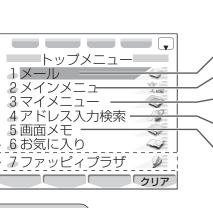
■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが緑色に点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

● 回線の状態によっては、まれに「Ｌモード」と通信できない場合があります。
● 引っ越しや移転などをしたときは、端末機器自動設定を行わないと「Ｌモード」と通信できなくなる場合があります。
● Ｌ/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30～60秒程度かかります。

Lモードのトップメニューについて

メール
メールの作成や送受信ができます。

メインメニュー
生活に役立つ情報が取り出せます。

マイメニュー
お気に入りの番組をマイメニューに登録しておくと、すぐに表示させることができます。

アドレス入力検索
ホームページのアドレスを入力するとインターネット上のホームページを見ることができます。

画面メモ
表示させた画面を保存することができます。

お気に入り
インターネットのアドレスを登録しておくとすぐに表示することができます。

ファッピィプラザ
シャープスペースタウンの案内を表示します 。

用語について

ゲートウェイ：
異なるプロトコルを持つネットワークを相互に接続するための、ハードウェアやソフトウェアのこと。

コンテンツ：
コンピュータで、画像、動画、音声、文章などを組み合わせて、一つの作品として仕上げたもの。

サイト：
サーバが設置された場所のこと。おもにインターネット上のサーバに対して使う。

ダウンロード：
他のコンピュータ上にあるデータを、ネットワークを通じて自分の端末側にコピーすること。

センター：
メールの送受信やブラウザページの閲覧をするために、回線を接続するところ。

タグ：
ファイルの中の特定の場所につけられた印のこと。そのタグを指定することで、その場所へ簡単に移動できる。

URL「ユーアールエル」：
Uniform Resource Locator の略。www で使われる、インターネット上の情報にアクセスする方法を示す表記。（インターネットのURLのことをアドレスと呼ぶこともある）
「http://www.○○○.co.jp/△△△/」というように、「プロトコル：//サーバ名/パス名」と記述される。

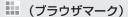
Lモードやサイトによっては「パスワード」が必要になります。

●パスワードの変更のしかた（☞6-11～6-12ページ）
別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」もご覧ください。

お知らせ

● 停電などで電源が切れるとアクセスポイント電話番号（センター番号）が消去されます。もう一度操作をして登録し直してください。
（☞6-5ページ）
● 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。

Ｌモード利用時のディスプレイ表示

「Ｌモード」利用時は液晶ディスプレイに次の様に表示されます。各メニューやページ等で表示される内容が変わります。

(ブラウザマーク)
「Ｌモード」へ接続している間、表示または点滅しています。
表示中は通信料金がかかります。
「Ｌモード」の接続が切れると (ブラウザマーク) は消えます。

「Ｌモード」を終了するときは
停止 を押します。

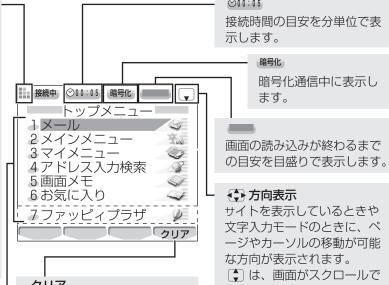
表示はそのままで「Ｌモード」の接続を切断するときは
キャッチ/消去 を押します。

00：05
接続時間の目安を分単位で表示します。

暗号化
暗号化通信中に表示します。

画面の読み込みが終わるまでの目安を目盛りで表示します。

方向表示
サイトを表示しているときや文字入力モードのときに、ページやカーソルの移動が可能な方向が表示されます。
 は、画面がスクロールできる方向や選べる項目がある方向を表示します。▲ または ▼ を押して操作してください。
 は、1つ前のページに戻る、または1つ先のページに進むことができるときに表示されます。1つ前に戻るときは ◀ を、1つ先に進むときは ▶ を押してください。

メニュー
メニューの項目が表示されます。選ばれている項目が (オレンジ色) のカーソルで表示されます。
項目を表示するには ▲ または ▼ で項目を選んで 決定 を押します。
ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。

クリア
クリア が表示されているときに、クリア を押すと次のように動作します。
- ブラウザサービスを使用しているときは、トップメニューが表示されます。
- メールの操作をしているときは、1つ前の画面が表示されます。

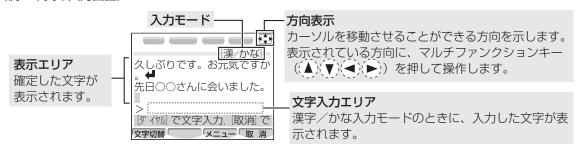
お知らせ

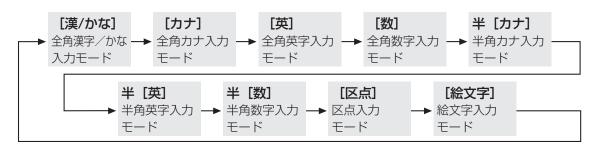
- コンテンツによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- コンテンツ提供者のサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 「Ｌモード」対応のページとは、「Ｌモード」に対応したタグ（ファイル中の特定の場所につけられた印）などで作成されたものです。文字のみのページや、画像（GIF、JPEG形式のみ）も表示できます。
- トップメニューを表示しているとき、「Ｌモード」と回線が接続されている場合もあります。回線が接続されている場合は、ブラウザマークが表示されています。
- この取扱説明書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状が異なる場合があります。

Lモード利用時の文字入力について

メールの宛先（メールアドレス）・題名・本文やサイト（番組）のページなどで漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・絵文字などを入れることができます。

文字入力モード画面について

（例：本文の入力画面）

文字入力モードの切替え

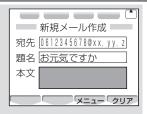
文字切替 を押すごとに、入力モードが切り替わります。

絵文字一覧

文字を入力する

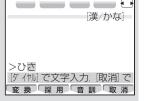
操作のしかた 漢字／かな入力モードで文字を入力します。

1 ▲または▼で文字を入力する項目を選ぶ

●選んだ項目は太線の枠でオレンジ色に表示されます。

2 L/決定 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで文字を入力する

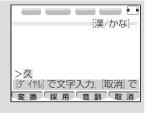
（例）「ひさ」と入力します。

●変換しないときは、Ｌ/決定ボタンを押します。

4 変換 または 音訓 を押して漢字に変換する

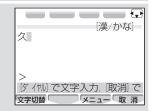
●変換した文字が表示されます。

■ 途中でやめるときは

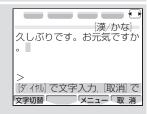
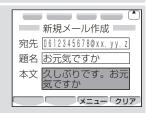
停止 を押します。（待機画面に戻ります。）

5 使いたい文字に変換されるまで 変換 または 音訓 を押す

●ボタンを押すたびに切り替わります。
▲または▼で選ぶこともできます。

●反転表示されている文字までが変換されます。
◀または▶で変換したい文字の範囲を調整することができます。

6 採用 を押す

文字を削除するときは

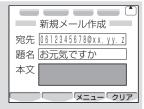
①▲▼◀▶で削除したい文字にカーソルを合わせる。
②取消ボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

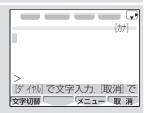
7 手順３～６を繰り返し行って文章を入力する

8 文章の入力が終わったら、L/決定 を押す

●文字入力モードが終了して手順1の画面に戻ります。

操作のしかた カナ・英字・数字モードで文字を入力します。

1 ▲または▼で文字を入力する項目を選ぶ

●選んだ項目は太線の枠でオレンジ色に表示されます。

2 L/決定を押す

●文字入力モードに切り替わります。

3 文字切替を数回押して入力モードを選ぶ

選んだ入力モードが画面右上に表示されます。

●文字の入力モードが半[英]のとき＊を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
＊を押して、文字を選んだあとＬ/決定ボタンを押します。

＊を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」
「@pipopa.ne.jp」「www.」

4 ダイヤルボタンで文字を入力する

●入力した文字は表示エリアに表示されます。次の文字を入力するか、文字切替ボタンを押すと入力した文字が確定します。

文字を削除するときは
①▲▼◀▶で削除したい文字にカーソルを合わせる。
②取消ボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

5 文字の入力が終わったら、L/決定を押す

●文字入力モードが終了して手順1の画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

停止を押します。（待機画面に戻ります。）

■ 文字を挿入するときは

▲▼◀▶で挿入したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて新しく文字を入力します。

■ 区点モードで文字を入力するときは

① 手順3で[区点]（区点入力モード）を選ぶ
② ダイヤルボタンで区点コードを入力する
区点コードは、区点コード一覧表（☞9-12～9-23ページ）を参照してください。
③ 入力した区点コードの文字が表示エリアに表示されます。

■ 絵文字モードで文字を入力するときは

① 手順3で［絵文字］（絵文字入力モード）を選ぶ
② ▲▼◀▶で入力したい絵文字を選ぶ
③ L/決定を押す
選択した文字が表示エリアに表示されます。

■ 改行するときは

▲▼◀▶で改行したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて、ダイヤルボタンで＃（改行）を押してください。表示エリアには↵が表示されます。（全角１文字分に相当します。）
メールの本文入力時のみ入力できます。ただし、数字入力モードや半角数字入力モードのときは「＃」が入力されて改行は入力されません。

■ 定型文を挿入するときは

文字入力モードが表示されている状態でメニューボタンを押して定型文を挿入する操作をしてください。（☞6-44ページ）

お知らせ

● 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

パスワードを変更／入力する

パスワードを変更する

Ｌモードのご利用にあたり、お客様の確認が必要な場合はパスワード（数字４ケタ）の入力が必要になります。ご契約時には「0000」に設定されていますが、他の方に不正に利用されることを防ぐために、お客様独自のパスワードに変更していただくことをおすすめします。詳しくは、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

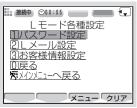
パスワードが必要な場合
（すべて同じパスワードを使用してください。）
◆有料番組の申込および解約
◆Ｌ案内メールサービスの申込および解約
◆パスワードの変更
◆各種サービス機能の変更や設定

操作のしかた

1 [決定] を押し、[▲]または[▼]で「メインメニュー」を選ぶ

2 [決定] を押し、[▲]または[▼]で「Ｌモードコーナー」を選ぶ

3 [決定] を押し、[▲]または[▼]で「Ｌモード各種設定」を選ぶ

4 [決定] を押し、「パスワード設定」を選ぶ

5 [決定] を押し、パスワード入力欄を選ぶ

6 [決定] を押す

7 変更前のパスワード（数字４桁）を入力する

●文字の入力方法については、「Ｌモード利用時の文字入力について」をご覧ください。
（☞6-8〜6-10ページ）
●ご契約時は「0000」（数字４桁）に設定されています。
●２回目以降の変更の場合は、ご自分の設定されたパスワードを入力します。

8 [決定] を押す

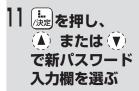
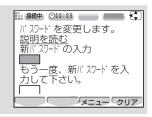
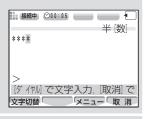
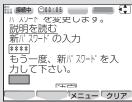
●パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。（ほかの方に見られるのを防ぐためです。）

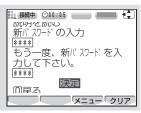
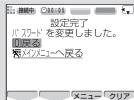
9 [▲]または[▼]で「OK」を選ぶ

10 [決定] を押し、「パスワード変更」を選ぶ

次ページへ→

→つづき

11 [/決定]を押し、[▲]または[▼]で新パスワード入力欄を選ぶ

12 [/決定]を押し、新パスワード（数字4桁）を入力する

13 [/決定]を押し、[▲]または[▼]で新パスワード再入力欄を選ぶ

14 [/決定]を押し、手順12と同じ新パスワードを再度入力する

15 [/決定]を押し、[▲]または[▼]で「決定」を選ぶ

16 [/決定]を押す

●パスワードが変更されました。

お知らせ

- パスワードを変更されない場合は「0000（数字4ケタ）」をパスワードとして設定されたと見なします。
- パスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。
- パスワードの変更方法や設定の状況を確認する方法については、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」をご覧ください。（2003年1月現在）

パスワードを入力する

ご契約後初めてお使いになるときは、パスワードが「0000」に設定されています。「0000」以外のパスワードをお使いになる場合は、「パスワードを変更する」（☞6-11～6-12ページ）の操作でパスワードを変更することができます。

操作のしかた

1 パスワード入力画面が表示されたら、▲または▼でパスワード入力欄を選ぶ

2 [決定]を押す

3 パスワード（数字4桁）を入力する

4 [決定]を押して▼で「OK」を選ぶ

●パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。（ほかの方に見られるのを防ぐためです。）

■ **パスワード保存について**

パスワードを入力するとき、▲または▼で「パスワード保存」を選び、[決定]を押してチェックを入れると、パスワードが保存されます。
パスワードを保存すると、2回目からはパスワード入力画面が表示されなくなり、入力の手間が省けます。
ただし、ほかの方もパスワードなしで操作できるようになるため、ご注意ください。

お知らせ

- 間違ったパスワードを入力した場合は再度パスワード入力画面が表示されます。この場合はパスワードをお確かめのうえもう一度パスワードの入力操作を行ってください。
- パスワードを4回連続して間違えて入力すると、メッセージが表示され、通信が自動的に切断されます。
- パスワードを保存した場合はご契約者本人以外の方が本商品からLモードを利用したときにも保存したパスワードが自動的に送信されます。
  本来パスワード入力が必要なサービスもご契約者と同様に利用可能となりますのでご注意ください。
- パスワード入力の要／不要を設定できる項目は、「マイメニューの利用」「メールサービスの利用」「サイト（番組）の閲覧」です。詳しくは、「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。
- パスワードをお忘れになった場合については、「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

マイアドレスを変更する

メールアドレスは、ご契約時には「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」になっています。これを、「マイアドレス（お客様が任意に選ぶアドレス）@pipopa.ne.jp」に変えることができます。
不要なメール（迷惑メールなど）を受け取らないようにするために、マイアドレスへの変更をおすすめします。詳しくは、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」もあわせてご覧ください。

操作のしかた

1 [決定]を押し、[▲]または[▼]で「メインメニュー」を選ぶ

2 [決定]を押し、[▲]または[▼]で「Lモードコーナー」を選ぶ

3 [決定]を押し、[▲]または[▼]で「Lモード各種設定」を選ぶ

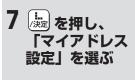
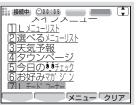
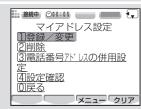
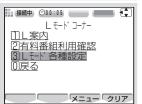
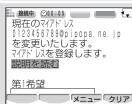
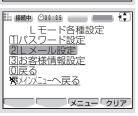
4 [決定]を押し、[▲]または[▼]で「Lメール設定」を選ぶ

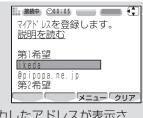
5 [決定]を押す

6 お客様の設定されたパスワード（設定していないときは数字の「0000」）を入力し、[▲]または[▼]で「OK」を選ぶ
(☞6-13ページ)

7 [決定]を押し、「マイアドレス設定」を選ぶ

8 [決定]を押し、「登録／変更」を選ぶ

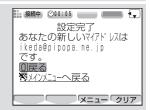
9 [決定]を押す

10 [▼]で「第1希望」の項目を選び、[決定]を押してから、マイアドレス（@より前の部分）を入力する

11 [決定]を押す

●第1希望の欄に入力したアドレスが表示されます。

次ページへ→

→つづき

12 第2希望、第3希望のマイアドレスも手順10〜11と同じように入力する

13 すべて入力が終わったら、「決定」を選び、 /決定 を押す

●登録したマイアドレスが表示されます。

●ほかのお客様が使用しているマイアドレスは登録できません。

●画面に「ご希望のメールアドレスはすでに使用されています。」と表示された場合は、メールアドレスの変更ができませんでしたので、再度別のマイアドレスの入力をお試しください。

■ **マイアドレスに使える文字**

使える文字

半角英数字	A~Z（大文字、小文字の区別なし） 0~9
記号	－（ハイフン） _（アンダーバー） .（ピリオド） ※ピリオドは最後の一文字には使用できません。
文字数	3文字以上16文字以内

マイアドレスの部分は、ご自分のお名前そのものや簡単な英数字の組み合わせ（例：ABCDe、1234A）など他の方に容易に推測されやすいものは、迷惑メールや間違いメールが届く原因ともなりますので、文字の組み合わせには十分気をつけて、お選びください。
選ばれたマイアドレスが、既に他のお客さまに使われている場合には、そのアドレスはご利用いただけません。

お知らせ

● マイアドレスの設定には通信料がかかります。
● マイアドレスへの変更を完了しますと、すぐに新しいメールアドレスをご利用になれます。
● マイアドレスは何回でも変更することができます。
● マイアドレスを変更してから一定期間内は、変更したお客さまのみが変更前のマイアドレスに戻すことができます。その期間内は変更前のマイアドレスが他のお客さまへ提供されることはありません。

変更前マイアドレスのご利用期間	マイアドレス変更後に、変更前のマイアドレスに戻すことができる期間
1日未満（24時間以内）	なし
1日以上10日未満	マイアドレスを変更後10日間
10日以上	マイアドレスを変更後90日間

● メールアドレスの変更後も、アドレスを変更する前に届いていた未読メールを読むことができます。
● お引越しなどによりお客さまのご利用電話番号が変更になった場合、電話番号アドレス（ご利用電話番号@pipopa.ne.jp）は変わりますが、マイアドレスは変更されません。

迷惑メールを防止する

着信お断りメールのアドレスを登録する

迷惑メールを防止するには次の２つの方法があります。

1 マイアドレスを設定する（☞6-14〜6-15ページ）

2 迷惑メールのお断り機能を利用する

※2 については、送信元のメールアドレスがわかっている迷惑メールや勧誘メールなどの不要なメールをあらかじめ登録しておくと、登録したメールアドレスから送られてくるメールの受信を拒否することができます。

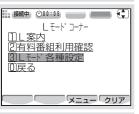
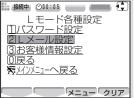
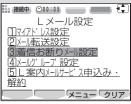
- 登録できるメールアドレスは最大30件までです。
- 詳しくは、「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

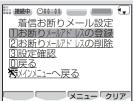
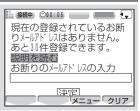
操作のしかた

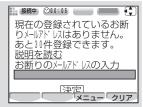
1 **［決定］を押し、▲または▼で「メインメニュー」を選ぶ**

2 **［決定］を押し、▲または▼で「Ｌモードコーナー」を選ぶ**

3 **［決定］を押し、▲または▼で「Ｌモード各種設定」を選ぶ**

4 **［決定］を押し、▲または▼で「Ｌメール設定」を選ぶ**

5 **［決定］を押し、「着信お断りメール設定」を選ぶ**

6 **［決定］を押し、「お断りメールアドレスの登録」を選ぶ**

7 **［決定］を押す**

8 **▼で「お断りメールアドレスの入力」のテキストボックスを選ぶ**

9 **［決定］を押す**

10 **お断りメールアドレスを入力する**

- 登録可能なメールアドレスの文字は、半角で50文字以内です。

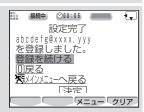
次ページへ→

→つづき

11 [L/決定] を押す

接続中 00:05
現在の登録されているお断り
メールアドレスはありません。
あと30件登録できます。
説明を読む
お断りのメールアドレスの入力
abcdefg@xxxx.yyy
決定
メニュー クリア

●登録されているお断りメールアドレスの件数が表示されます。

12 [▼] で「決定」を選び、[L/決定] を押す

●「登録を続ける」を選びL/決定ボタンを押すと続けてお断りのメールアドレスを登録することができます。

●お断りメールアドレスの登録が完了し、登録内容が表示されます。

■ お断りメールアドレスを削除するには

① 手順6で「お断りメールアドレスの削除」を選ぶ

② [L/決定] を押し、[▲] または [▼] でお断りメールアドレスが表示されているテキストボックスを選ぶ

③ [L/決定] を押し、[▲] または [▼] で削除するお断りメールアドレスを選ぶ

④ [L/決定] を押し、[▼] で「決定」を選ぶ

⑤ [L/決定] を押し、「はい」を選ぶ

⑥ [L/決定] を押す

⑦ お断りメールアドレスの削除を続ける場合は、[▼] で「削除を続ける」を選ぶ

⑧ 上記の③から操作する

お知らせ

● 「Lモード」通信中は、通信料金がかかります。
● 各選択画面の項目や表示順などは、変更されることがあります。
● 着信お断りメール送信者が、グループアドレスを変更している場合、電話番号および任意のグループアドレスの両方に対して迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否します。
グループについては「Lモード使用説明書」を参照してください。
● 着信お断り機能を設定すると、マイアドレスと利用電話番号アドレスの併用をしている場合、利用電話番号アドレスおよびマイアドレスの両方に対して迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否します。
● 迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否した場合、相手の方には送信されてきたメールに「こちらはLメールシステムです。受信者のご都合によりメールを送信できませんでした。」を付け加え返信します。
● マイアドレスと利用電話番号アドレスを併用している場合、送信するメールの送信元アドレスはマイアドレスとなります。（2003年1月現在）

Ｌモードを便利に使う

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの（▲）または（▼）で選びます。

（例）

メール自動受信

はたらき

「Ｌモード」に蓄積された新着メールを、自動的に受信する機能の設定ができます。
くわしい設定のしかたは、6-32〜6-33ページをご覧ください。

手順

親機で設定します

［登録］ ➡ 「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ ［/決定］ ➡ 「メール自動受信」を選ぶ ➡ ［/決定］ ➡➡

➡➡ ○メールを自動受信する ⊙メールを自動受信しない のどちらかを選ぶ ➡ ［/決定］
- ［自動受信する］ ➡ ［OK］を選ぶ ➡ ［/決定］ 2回押す ➡➡
- ［自動受信しない］ ➡ ［OK］を選ぶ ➡ ［/決定］ 2回押して設定終了

➡➡ 1 メール到着通知が届くたびに受信　2 指定した時刻に受信　3 指定した時刻にメール到着通知が届いていたら受信　のいずれかを選ぶ
- ［1を選択］ ➡ ［/決定］ ➡ ［OK］を選ぶ ➡➡
- ［2、3を選択］ ➡ ［/決定］ ➡ ［OK］を選ぶ ➡ ［/決定］ 2回押す ➡➡

➡➡
- ［1を選択］ ［/決定］ 3回押して設定終了
- ［2、3を選択］ （▲）または（▼）で時刻を選ぶ（0時〜23時） ➡ ［/決定］ ➡ ［OK］を選ぶ ➡ ［/決定］ 3回押して設定終了

切り忘れ防止タイマー

はたらき

「Ｌモード」にアクセスしてから、回線が接続されたままで設定した時間がたつと、自動的に回線を切断します。（操作中やプリント中でも切断します。）
01分〜10分または無監視に設定できます。無監視に設定した場合でも、「Ｌモード」とデータのやりとりが一定時間ない場合は回線が切断されますのでご注意ください。

手順

親機で設定します

［登録］ ➡ 「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ ［/決定］ ➡ 「切り忘れ防止タイマー」を選ぶ ➡ ［/決定］ ➡➡

➡➡ ［/決定］ ➡ （▲）または（▼）で選ぶ（01分〜10分または無監視） ➡ ［/決定］ ➡ ［OK］を選ぶ ➡ ［/決定］

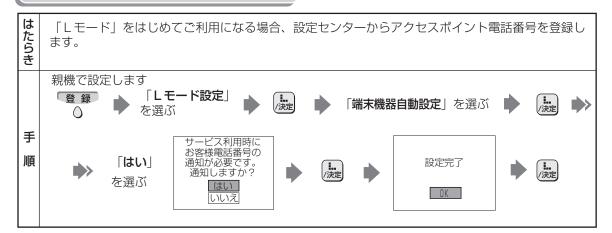
■ **途中でやめるときは**

［停止］を押します。

■ **前に戻るときは**

［クリア］を押します。

端末機器自動設定

はたらき	「Ｌモード」をはじめてご利用になる場合、設定センターからアクセスポイント電話番号を登録します。
手順	親機で設定します 登録 ➡ 「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「端末機器自動設定」を選ぶ ➡ 決定 ➡➡ ➡➡ 「はい」を選ぶ（サービス利用時にお客様電話番号の通知が必要です。通知しますか？ はい／いいえ） ➡ 決定 ➡（設定完了 OK） ➡ 決定

センター番号確認

はたらき	端末機器自動設定で登録されたアクセスポイント電話番号をディスプレイに表示することができます。アクセスポイント電話番号が登録されていないときは、表示されません。
手順	親機で設定します 登録 ➡ 「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「センター番号確認」を選ぶ ➡ 決定 ➡ （センター番号が表示されます。） ➡ 決定

証明書設定

はたらき	暗号化通信（☞6-53、6-56ページ）に必要な証明書を表示し、有効にする・無効にするの設定をします。無効にすると、その証明書が認承するサイトへ接続するときに、「接続先の認承に失敗しました。暗号化通信を終了します。」と表示されます。（接続できなくなります。）
手順	親機で設定します 登録 ➡ 「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「証明書設定」を選ぶ ➡➡ ➡➡ 決定 ➡ 設定したい証明書を選ぶ ➡ メニュー（決定で証明書の内容を確認できます。） ➡ 1 有効 2 無効 のどちらかを選ぶ ➡➡ ➡➡ 決定 ➡ 他の証明書も同じように設定する。すべて設定したら 停止 を押す。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **前に戻るときは**

クリア を押します。

Ｌモードを便利に使う

6 Ｌモード メール ブラウザ

電話帳データ送信

はたらき	親機に登録した電話帳の内容を「Ｌモード」に送信して一時保管することができます。
手順	親機で設定します 登録 ➡ 「**Ｌモード設定**」を選ぶ ➡ /決定 ➡ 「**電話帳データ送信**」を選ぶ ➡➡ /決定 ➡ 「**はい**」を選ぶ ➡ /決定 ➡ 送信先メールアドレスを入力して、電話帳データを送信します。操作方法は6-74ページをご覧ください。

お気に入りデータ送信

はたらき	親機に登録したお気に入りのデータを「Ｌモード」に送信して一時保管することができます。
手順	親機で設定します 登録 ➡ 「**Ｌモード設定**」を選ぶ ➡ /決定 ➡ 「**お気に入りデータ送信**」を選ぶ ➡➡ /決定 ➡ 「**はい**」を選ぶ ➡ /決定 ➡ 送信先メールアドレスを入力して、お気に入りデータを送信します。操作方法は6-74ページをご覧ください。

画像表示

はたらき	サイトやメッセージに含まれている画像を読み込まないようにできます。
手順	親機で設定します 登録 ➡ 「**Ｌモード設定**」を選ぶ ➡ /決定 ➡ 「**画像表示**」を選ぶ ➡➡ /決定 ➡ ⊙画像を表示する ○画像を表示しない のどちらかを選ぶ ➡ /決定 ➡ OK を選ぶ ➡ /決定

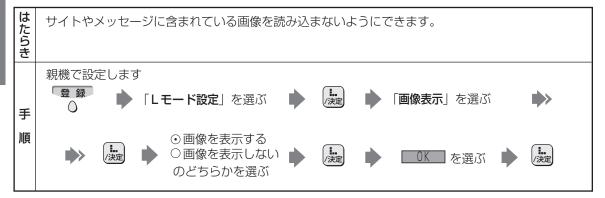
■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **前に戻るときは**

クリア を押します。

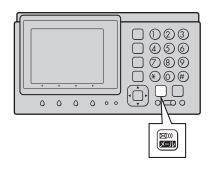
Ｌモードを便利に使う

6 Ｌモード メール ブラウザ

第6章
Lモード〈メール〉

ページ

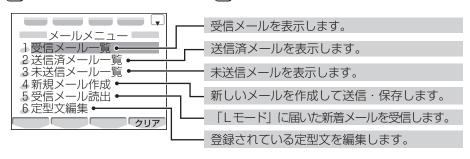
メールについて
メールメニューについて………………………… 6-22
メールの送受信可能文字数……………………… 6-22
便利なメールの設定や機能について…………… 6-23
メールを新しく作って送信する
メールを作る……………………………………… 6-24
メールを送信する………………………………… 6-26
メールを受信する／表示する
メールが届いたときは…………………………… 6-27
Ｌモード利用時のメッセージ到着お知らせ
サービスについて……………………………… 6-28
メール到着通知音の設定を変更する…………… 6-29
メール自動受信とは……………………………… 6-30
メール自動受信を設定する（メッセージあり通知ごと）… 6-32
メール自動受信を設定する（指定時刻ごと）……… 6-33
メールを手動受信する…………………………… 6-34
メール自動受信完了音の設定を変更する……… 6-35
メールを表示する………………………………… 6-36
誰からメールを使う
アニメーション表示を設定する………………… 6-37
名前表示を設定する……………………………… 6-39
受信メールを保護する…………………………… 6-40
メールに返事を出す／転送する
メールに返事を出す（返信）…………………… 6-41
メールを他の宛先に転送する…………………… 6-42
相手のメールアドレスを電話帳に登録する………… 6-43
定型文を入れる
定型文を入れる…………………………………… 6-44
定型文を編集する………………………………… 6-45
メールを編集する
送信済メールを編集する………………………… 6-46
未送信メールを編集する………………………… 6-47
未送信メールを一括送信する…………………… 6-48
メールを削除する………………………………… 6-49

メールについて

Ｌモードの利用者同士だけでなく、パソコンや携帯電話をお使いの方とも、メールのやりとりができます。

メールメニューについて

メールメニューを表示するには次の方法があります。

• [メール] を押す
　（未読メールがある場合は受信メール一覧が表示されます。）

• [/決定] を押し、「メール」を選んでから [/決定] を押す

メールの送受信可能文字数

メールで送信／受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字）の場合	半角文字（英字、数字、カタカナ）の場合
宛先（メールアドレス）	25文字	50文字
題　名	30文字	60文字
本　文	1500文字	3000文字

● 半角カタカナのメールを送信／受信した場合、正しく表示されない場合がありますので、「Ｌモード」利用者どうしでのメールのやりとり以外には半角カタカナを使用しないでください。
● 本文が全角1500文字(半角3000文字)を超えるメールを受信した場合、全角1500文字目(または半角3000文字目)からは自動的に削除されます。全角1500文字を超えているときは「＊」が表示されます。
● 宛先（メールアドレス）には、絵文字は使用できません。
● 文字（スペース含む）には全角と半角がありますので、入力するときは間違えないように注意してください。
● 本文の改行マークは全角１文字として扱われます。

便利なメールの設定や機能について

下記の設定の詳細については、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

● **パスワード設定（変更のしかた　☞6-11～6-12ページ）**
メールやサイトによっては、パスワードが必要になります。

● **マイアドレス設定（設定のしかた　☞6-14～6-15ページ）**
メールのメールアドレスは、ご契約時は「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」となっています。

● **メール転送設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
メールの転送機能の設定と、その際の転送先アドレスを登録することができます。

● **着信お断りメール設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
受信したくない相手の方からのメールに対して、こちら側では受信を拒否していることを伝えるメールを自動的に返信することができます。あらかじめメールを受信したくない相手の方のメールアドレスを登録しておくことが必要です。これにより不要なメールの受信を避けることができます。

● **メールグループ設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
同じ内容のメールを複数の相手（グループ）に送るとき便利な機能です。メールグループは10件まで設定でき、各メールグループには49件までの送信先アドレスを登録できます。

お知らせ

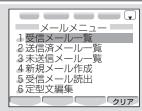
● e-mailからの添付ファイルを受信することはできません。

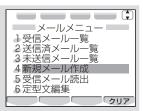
メールを新しく作って送信する

メールを作る

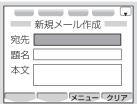
新規にメールを作成するには、「宛先（メールアドレス）」「題名」「本文」を入力します。作成したメールは、「Ｌモード」利用者やインターネットを経由して、e-mailをお使いの方へ送信します。

操作のしかた

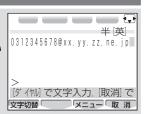
1 メール を押す

●メールメニューが表示されます。
（未読メールがあるときは受信メール一覧が表示されます。クリア を押すとメールメニューになります。）
●次の方法でもメールメニューが表示できます。
L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す

2 ▲または▼で「新規メール作成」を選ぶ

3 /決定 を押す

●「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください（☞6-49ページ）。
送信済メールと未送信メールは、合わせて50件まで保存できます。

4 宛先のテキストボックスを選ぶ

5 /決定 を押す

●文字の入力画面になります。

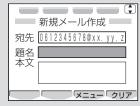
6 宛先を入力する（宛先は、1件しか入力できません）

●「Ｌモード利用時の文字入力について」（☞6-8～6-10ページ）を参照してください。半角で50文字まで入力できます。
改行はできません。
スペースは使用しないでください。

●文字の入力モードが半[英]のとき ＊ を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
＊ を押して、文字を選んだあとＬ/決定ボタンを押します。

＊ を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」「www.」

●電話帳から宛先を検索するときは（☞6-25ページ）

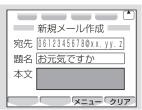
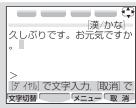
7 /決定 を押し、▼で題名のテキストボックスを選ぶ

8 /決定 を押し、題名を入力する

［漢/かな］
お元気ですか
>
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
文字切替 メニュー 取 消

●「Ｌモード利用時の文字入力について」（☞6-8～6-10ページ）を参照してください。全角30文字分（半角60文字）まで入力できます。改行はできません。

次ページへ→

→つづき

9 [L/決定] **を押し、[▼]で本文のテキストボックスを選ぶ**

10 [L/決定] **を押し、本文を入力する**

● 「Lモード利用時の文字入力について」（☞6-8～6-10ページ）を参照してください。全角1500文字（半角3000文字）まで入力できます。定型文（☞6-44ページ）を挿入することができます。

11 [L/決定] **を押す**

12 [メニュー] **を押し、[▼]で「保存」を選ぶ**

● 「送信」を選んでL/決定ボタンを押すと、「Lモード」に接続して、作成したメールを送信します。「送信完了　切断しますか？」と表示されたら「はい」を選んでL/決定ボタンを押すと、回線が切断されメールメニュー画面に戻ります。

13 [L/決定] **を押す**

●作成したメールが「未送信メール」として本機に保存されます。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。（待機画面に戻ります。）

■ **電話帳に登録しているメールアドレスを検索して宛先に設定するには**

① 「メールを作る」（☞6-24ページ）の手順1～3までを操作する
② [L/決定] を押す
③ [メニュー] を押し、「電話帳呼出」を選ぶ
④ [L/決定] を押す
⑤ [▲] または [▼] で送信先を選ぶ
⑥ [L/決定] を押す
⑦ もう一度、[L/決定] を押す

メール作成画面に変わり、選んだ宛先が入力されます。

お知らせ

● 宛先、題名、本文それぞれの入力可能桁数を超えた場合は、新たに文字を入力できなくなります。
● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 回線が接続されていない状態でメール作成中にかかってきた電話を受けることができます。文字を入力中は、通話を終了すると手順7・9・11の画面面に戻ります。手順7・9・11の画面を表示していたときは、通話を終了すると待機画面に戻ります。その場合、入力していた内容は保存されません。
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。
● Lモード以外のメールサービスをご利用の方とメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
● 絵文字の利用は、メール送受信のときだけ可能です。（ただし、相手側が「Lモード」利用者以外の場合は、うまく表示できない場合があります。）

メールを送信する

操作のしかた

「メールを作る」（☞6-24～6-25ページ）の操作で送信メールを作成・保存してから操作します。

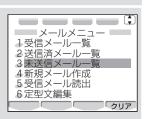
1 [メール] を押す

●メールメニューが表示されます。

（未読メールがあるときは受信メール一覧が表示されます。[クリア] を押すとメールメニューになります。）

●次の方法でもメールメニューが表示できます。

L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す

2 [▲]または[▼]で「未送信メール一覧」を選ぶ

3 [L/決定] を押し、[▲]または[▼]で送信したいメールを選ぶ

4 [L/決定] を押し、メールの内容を表示する

5 [メニュー] を押し、[▼]で「送信」を選ぶ

6 [L/決定] を押し、「はい」を選ぶ

7 [L/決定] を押す

●回線が切断されメールメニュー画面に戻ります。

●送信したメールは「送信済メール」として本機に保存されています。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。（待機画面に戻ります。）

アドバイス！

メールの設定が正しいかどうかを確認するためにまず、ご自分宛にメールを作成して送信してみることをおすすめします。受信のしかたは6-34ページをご覧ください。

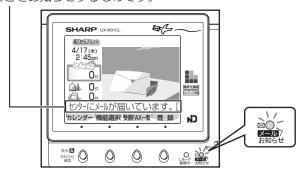
お知らせ

● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
● メール送信中など回線が接続されているときは、電話やファクスを使用できません。
● 回線の状態によっては、「Lモード」と接続できない場合があります。「Lモード」と接続できなかった場合は、「接続に失敗しました。」と表示されます。
● Lモード以外のメールサービスをご利用のお客さまとメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
● Lモードの通信中に、回線の通信状況等によりメールの送受信ができない場合も、通信料がかかります。

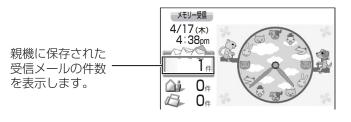
メールを受信する／表示する

メールが届いたときは

● メッセージ到着お知らせサービス（メッセージ有り通知）を利用すると、「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたときに、ディスプレイに「センターにメールが届いています。…」と表示され、お知らせランプが赤色に点灯します。

※この表示は、「Ｌモード」に新着メールが届いていることをお知らせするものです。

※ Ｌモードセンターに新しいメールが届くと、親機のみメロディーでお知らせします。メール到着通知音を「あり」に設定してください。
（はじめは、「あり」に設定されています。☞6-29ページ）

● 「センターにメールが届いています。…」と表示されただけでは、まだ本機にメールは受信されていません。メール自動受信の設定（☞6-32～6-33ページ）が、「メール到着通知が届くたびに受信」になっているときは、続いて自動的にメールを受信します。メール自動受信をしない設定のときは、「メールを手動受信する」（☞6-34ページ）の操作でメールを受信してください。（はじめは、しない設定になっています。）
受信したメールは親機に保存されて、内容を見ることができます。

親機に保存された受信メールの件数を表示します。

※ メール自動受信でメールを本機に受信すると、親機のみメロディーでお知らせします。メール自動受信完了音を「あり」に設定してください。
（はじめは、「あり」に設定されています。☞6-35ページ）

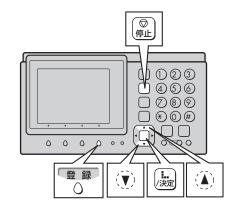
お知らせ

● メール到着通知音、メール自動受信完了音の音量は、親機の呼出音量と連動しています。「親機の呼出音量を変える」（☞1-27ページ）の操作で変更できます。また、「親機の呼出音を鳴らさないようにする」（☞1-27ページ）の操作で最小の音量になります。
● 受信メールの本文は全角で1500文字（半角3000文字）まで受信できます。
● 受信メール一覧やメールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは（▲）または（▼）でスクロールさせて表示してください。
● 保存できる受信メールは99件までです。99件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールから自動的に削除されます。
● メールを受信したとき、未読メールと保護メールの件数が合わせて99件を超えると「受信メールが一杯です。」と表示されます。そのときは、未読メールの内容を確認するか、保護メールを解除して不要なメールを消去してください。
● 「Ｌモード」に受信メールがなかったときは、「新着メールはありません。切断しますか？」と表示されます。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

Ｌモード利用時のメッセージ到着お知らせサービスについて

- メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「使用する」になっていることを確認してください。（☞7-3ページ）
- メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイを契約されていなくても利用することができます。
- 通信中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
- メールのメッセージ有り通知は、メディア種別は表示されません。
- 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
- 「センターにメールが届いています。…」を表示中に停電し、その後復旧すると「センターにメールが届いています。…」の表示はしません。
- 「センターにメールが届いています。…」の表示は、メッセージセンターからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 「センターにメールが届いています。…」が表示されていないのにお知らせランプが点灯しているときは、8-24〜8-25ページをご覧ください。
- 端末機器自動設定（☞6-5、6-19ページ）が正しく設定されていない場合、メッセージ到着お知らせサービスのメッセージが正常に表示されないことがあります。

メール到着通知音の設定を変更する

「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたことをお知らせする、メール到着通知音のあり・なしを変更することができます。はじめは「あり」に設定されています。

操作のしかた

1 [登録] を押し、[▲]または[▼]で「音関連設定」を選ぶ

登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択，[/決定] で決定
戻る

2 [/決定] を押し、[▲]または[▼]で「メール到着通知音」を選ぶ

音関連設定
1 音量調整
2 親機呼出音
3 メール到着通知音
4 メール自動受信完了音
で選択，[/決定] で決定
戻る

3 [/決定] を押し、[▲]または[▼]でいずれかの項目を選ぶ

メール到着通知音
1 あり
2 なし
で選択，[/決定] で決定
戻る

●メール到着通知音を鳴らさないときは「なし」を選びます。

4 [/決定] を押す

●選んだ項目に設定されます。

5 [停止] を押す

■ **1つ前に戻るときは**

[戻る] を押します。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。

お知らせ

● メール到着通知音の音量は、親機の呼出音量と連動しています。「親機の呼出音量を変える」（☞1-27ページ）の操作で変更できます。また、「親機の呼出音を鳴らさないようにする」（☞1-27ページ）の操作で最小の音量になります。

メール自動受信とは

「Ｌモード」からメッセージあり通知を受けたり、あらかじめ設定した時刻になるごとに、自動的にメールを受信できます。自動受信をするたびに通信料金がかかりますので、ご注意ください。

メール自動受信の例

	メッセージあり通知ごとに受信	設定時刻ごとに受信（午後５時に設定）	設定時刻にメッセージあり通知があると受信（午後５時に設定）
9時			
	メール１ Ｌモード着	メール１ Ｌモード着	メール１ Ｌモード着
	本機に通知「センターにメールが届いています」	本機に通知「センターにメールが届いています」	本機に通知「センターにメールが届いています」
	自動受信：メール１を受信		
	メール２ Ｌモード着	メール２ Ｌモード着	メール２ Ｌモード着
1時			
	本機に通知「センターにメールが届いています」	本機に通知「センターにメールが届いています」	本機に通知「センターにメールが届いています」
	自動受信：メール２を受信		
	メール３ Ｌモード着	メール３ Ｌモード着	メール３ Ｌモード着
	本機に通知「センターにメールが届いています」	本機に通知「センターにメールが届いています」	本機に通知「センターにメールが届いています」
	自動受信：メール３を受信		メッセージあり通知を確認
5時		自動受信：メール１、２、３を受信	自動受信：メール１、２、３を受信
		※メールがないときでも設定時刻になると受信動作をします。	※設定時刻にメッセージ有り通知を確認し、通知がないときは受信動作をしません。

■ **メール自動受信を設定するには**
（☞6-32〜33ページ）

■ **アップロードした電話帳やお気に入りのデータ（☞6-74ページ）があるときは**
これらのデータは、メール自動受信ではダウンロードできません（受信時に破棄されます）。
電話帳やお気に入りのデータをアップロードしたときは、必ず手動受信（☞6-34ページ）でダウンロードしてください。

■ **受信メールを表示するために、パスワード入力が必要な設定にしているときは（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
パスワード入力画面で、Ｌモードご契約時に設定したパスワード（☞6-11ページ）を入力してください。

お知らせ

- メール自動受信を正常に動作させるには、親機の日付・時刻設定（☞1-34ページ）を正しく行ってください。
- メール自動受信をご利用になる前に、あらかじめ手動でメールを受信して、正常にメールが受信できることを確かめてください。
- 設定時刻に親機を使っているとき（通話やコピーなど）は、親機の動作が終了してからメール自動受信が動作します。
- 同じ時刻に伝言アラーム（☞5-6〜5-7ページ）が設定されていた場合、伝言アラームの動作が終了したあとにメール自動受信が動作します。
- すでに未読メールと保護メールがあわせて99件あるときは自動受信できません。
- エラー表示が表示されたときは、手動でメールを受信してください。エラー表示はL/決定ボタンやメールボタンを押すと消えます。
- エラー表示が表示されていなくても、メール自動受信がうまく動作していないときは、手動でメールを受信してください。
- 停電などで電源が切れたときは、電源が復旧したあとに端末機器自動設定（☞6-19ページ）を行ってください。電源復旧後に「メール自動」マークが点灯していても、端末機器自動設定を行なわないとメール自動受信はできません。

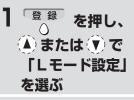
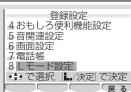
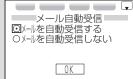
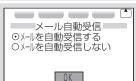
メール自動受信を設定する（メッセージあり通知ごと）

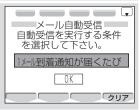
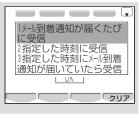
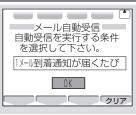
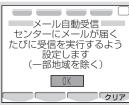
メール自動受信を設定すると、「Ｌモード」からメッセージあり通知を受けたり、設定した時刻になるごとに、自動でメール受信の操作をします。
はじめは、自動受信をしない設定になっています。

操作のしかた

1

を押し、▲または▼で「Ｌモード設定」を選ぶ

2
（/決定）を押し、「メール自動受信」を選ぶ

3 （/決定）を押し、「メールを自動受信する」の項目を選ぶ

4 （/決定）を押し、▲または▼で「OK」を選ぶ

5 （/決定）を押し、受信条件の項目を選ぶ

6 （/決定）を押し、▲または▼で「１メール到着通知が届くたびに受信」を選ぶ

7 （/決定）を押し、▲または▼で「OK」を選ぶ

8 （/決定）を押す

9 （/決定）を押す

10 （/決定）を押す

●「Ｌモード」からメッセージあり通知を受けるごとに、メールを自動受信する設定になります。

お知らせ

● 自動受信を設定していても、手動受信（☞6-34ページ）で必要なときに受信操作をすることができます。

メール自動受信を設定する（指定時刻ごと）

指定時刻になると、自動的にメール受信をする設定にすることもできます。
また、指定時刻にメッセージあり通知を受けているときのみ受信する設定にすることもできます。

操作のしかた

1 「メール自動受信を設定する」（☞6-32ページ）の手順5までを操作する

2 [決定] を押し、「2 指定した時刻に受信」または「3 指定した時刻にメール到着通知が届いていたら受信」を選ぶ

3 [決定] を押し、▲または▼で「OK」を選ぶ

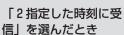
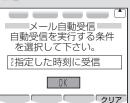
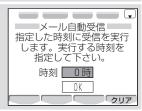
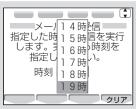
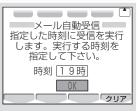
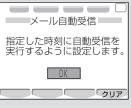
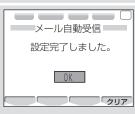
「2 指定した時刻に受信」を選んだとき

4 [決定] を押し、時刻の項目を選ぶ

5 [決定] を押し、▲または▼で設定時刻を選ぶ（0時〜23時）

6 [決定] を押し、▲または▼で「OK」を選ぶ

7 [決定] を押す

8 [決定] を押す

9 [決定] を押す

●手順2で…

「2 指定した時刻に受信」を選んだとき
指定時刻にメールを自動受信する設定になります。

「3 指定した時刻にメール到着通知が届いていたら受信」を選んだとき
指定時刻にメッセージあり通知を受けているときのみ、メールを自動受信する設定になります。

お知らせ

- 自動受信の「指定した時刻に受信」で「Lモード」に接続されると、新着メールがないなどの理由でメールを受信できなかったときでも、通信料金がかかります。
- 自動受信を設定していても、手動受信（☞6-34ページ）で必要なときに受信操作をすることができます。

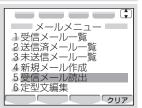
メールを手動受信する

メール自動受信をする設定にしていても、必要なときにメールを手動で受信することができます。
メール自動受信の設定を変更するときは、6-33ページをご覧ください。

操作のしかた

1 [メール] を押す

●メールメニューが表示されます。
（未読メールがあるときは受信メール一覧が表示されます。[クリア] を押すとメールメニューになります。）
●次の方法でもメールメニューが表示できます。
L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す

2 [▲] または [▼] で「受信メール読出」を選ぶ

3 [L/決定] を押す

●「受信メールが一杯です。削除してください」と表示したときは、受信メール（未読メールと保護メール）が一杯で新しいメールを保存できません。L/決定ボタンを押すと受信メールの一覧が表示されますので、不要なメールを削除してください。（☞6-49ページ）
●「Lモード」に接続し、メールを受信します。
●「接続に失敗しました。」と表示したときは、L/決定ボタンを押すと受信メールの一覧が表示されます。ただし、新しく保存されたメールは表示されません。

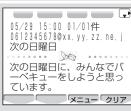
4 受信完了のメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ

5 [L/決定] を押す

●ディスプレイに受信メール一覧が表示され、最新の受信メールが選択されています。

●受信メールの識別マークについて
次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。

[✉] ……………まだ読んでいないメール
[ ] （空白）………すでに読んだメール
[鍵] …保護（☞6-40ページ）されているメール

6 [L/決定] を押す

●メールの内容が表示されます。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（[▦]）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

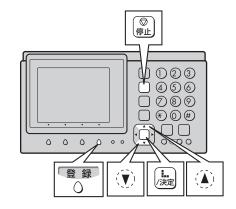
■ **受信メールの内容を印刷するには**

手順6から「ページプリントする」操作（☞6-72ページ）を行ってください。
手順6のあとに、[コピー/印刷] を押しても印刷することができます。

お知らせ

● 「Lモード」以外のメールサービスをご利用の方とメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
● 「Lモード」の通信中に、回線の通信状況等により、メールの受信ができない場合も、通信料金がかかります。
● メールを手動受信したときは、メール自動受信完了音は鳴りません。

メール自動受信完了音の設定を変更する

本機に新しいメールを受信したことをお知らせする、メール自動受信完了音のあり・なしを変更することができます。はじめは「あり」に設定されています。

操作のしかた

1 登録 を押し、▲または▼で「音関連設定」を選ぶ

登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択，[/決定] で決定
戻る

2 /決定 を押し、▲または▼で「メール自動受信完了音」を選ぶ

音関連設定
1 音量調整
2 親機呼出音
3 メール到着通知音
4 メール自動受信完了音
で選択，[/決定] で決定
戻る

3 /決定 を押し、▲または▼でいずれかの項目を選ぶ

メール自動受信完了音
1 あり
2 なし
で選択，[/決定] で決定
戻る

●メール受信完了音を鳴らさないときは「なし」を選びます。

4 /決定 を押す

●選んだ項目に設定されます。

5 停止 を押す

■ **1つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

お知らせ

● メール自動受信完了音の音量は、親機の呼出音量と連動しています。「親機の呼出音量を変える」（☞1-27ページ）の操作で変更できます。また、「親機の呼出音を鳴らさないようにする」（☞1-27ページ）の操作で最小の音量になります。

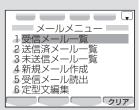
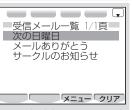
メールを表示する

保存しているメール（受信メール（☞6-27ページ）・送信済メール・未送信メール）の内容を表示します。

操作のしかた　（例）受信メールを表示するとき

1 [メール] を押す

- メールメニューが表示されます。
  （未読メールがあるときは受信メール一覧が表示されます。）
- 次の方法でもメールメニューが表示できます。
  L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す

2 表示したいメール一覧（受信メール一覧・送信済メール一覧・未送信メール一覧）を選ぶ

3 [L/決定] を押す

- 保存されているメールの一覧が表示されます。
- 受信メール（☞6-27ページ）の識別マークについて
  次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。
  ✉ ……………まだ読んでいないメール
  □ （空白）………すでに読んだメール
  ⚷ …保護（☞6-40ページ）されているメール

4 [▲] または [▼] で表示したいメールを選ぶ

5 [L/決定] を押す

- メールの内容が表示されます。
- 送信済メール・未送信メールを編集するときは（☞6-46〜6-47ページ）
- 未送信メールを送信するときは（☞6-48ページ）
- メールを削除するときは（☞6-49ページ）

■ 途中でやめるときは

[停止] を押します。

■ メールの内容を印刷するには

手順5から「ページプリントする」操作を行ってください。（☞6-72ページ）手順5のあとに [コピー/印刷] を押しても印刷することができます。

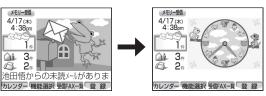
■ 未読メールがあるときは

待機画面に「（○○からの）未読メールがあります。メールボタンを押し、メールを確認ください。」と表示されているときは、[メール] を押して「受信メール一覧」を表示することができます。

お知らせ

- メールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは [▲] または [▼] でスクロールさせて表示してください。
- 未送信メール・送信済メール・受信メールの内容を表示しているときは、[▶] で1つ前の、[◀] で次のメールを表示します。
- 題名のないメールを受信すると、受信メール一覧では「無題」と表示されます。
- 題名を入力せずにメールを保存または送信すると、未送信メール一覧・送信済メール一覧では「無題」と表示されます。
- 未送信メール・送信済メールは合わせて50件まで保存できます。
- 親機で表示できる文字数は全角で1500文字（半角で3000文字）までです。この文字数を超えているときは「＊」が表示されます。

誰からメールを使う

未読メールがあることを、アニメーションと親機の電話帳に登録されている名前を表示してお知らせします。
また、親機の電話帳にメールアドレスが登録されている相手の方から、最大5件までを選んで、個別にアニメーションを設定することができます。
アニメーション表示と名前表示は、それぞれ動作を設定できます。はじめは、いずれも「する」設定になっています。
誰からメールを使う場合は、メール自動受信の設定をおすすめします。（☞6-32～6-33ページ）

未読メールがなくなると、アニメーション・メッセージ表示は消えます。

アニメーション表示を設定する

未読メールがあるときに表示されるアニメーションの種類を変更する、アニメーション表示を停止する、などの設定ができます。

操作のしかた

1 登録 を押し、▲または▼で「おもしろ便利機能設定」を選ぶ

登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択，[/決定] で決定
戻る

2 /決定 を押し、「誰からメール」を選ぶ

おもしろ便利機能設定
1 誰からメール
2 伝言アラーム
で選択，[/決定] で決定
戻る

3 /決定 を押し、「アニメーション設定」を選ぶ

誰からメール
1 アニメーション設定
2 名前表示設定
3 アニメーション確認
で選択，[/決定] で決定
戻る

4 /決定 を押し、「する」を選ぶ

アニメーション設定
1 する
2 しない
で選択，[/決定] で決定
戻る

●「しない」を選んでL/決定ボタンを押すと、アニメーション表示をしない設定になります。

5 /決定 を押し、▲または▼で相手先を登録する項目を選ぶ

アニメーション設定
1 設定者以外　イヌ
2 ------------------------
3 ------------------------
4 ------------------------
5 ------------------------
で選択，[/決定] で決定
戻る

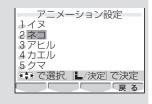
●項目1は「設定者以外」に固定されています。項目2～6に登録されていない相手先は、すべてこの動作となります。

6 /決定 を押し、▲または▼で登録する相手先を選ぶ

電話帳
池田 悟
三浦 サオリ
で選択，[/決定] で決定
戻る

●電話帳にメールアドレスを登録されている相手先が一覧表示されます。

7 /決定 を押し、▲または▼でアニメーションの種類を選ぶ

アニメーション設定
1 イヌ
2 ネコ
3 アヒル
4 カエル
5 クマ
で選択，[/決定] で決定
戻る

●「イヌ」「ネコ」「アヒル」「カエル」「クマ」「ウサギ」の6種類から選べます。

次ページへ→

→つづき

8 [/決定] を押す

●相手先とアニメーションが設定されます。

9 [停止] を押す

●待機画面に戻ります。
●このあと、[/決定] または [メール] を押してから、[停止]を押す操作を行ってください。この操作を行うと、実際の動作が変更されます。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。

■ **設定した内容を変更するときは**

① 手順 5 で、内容を変更したい項目を選ぶ
② [/決定] を押す
③ 手順 6 から操作し、相手先やアニメーションを変更する。

■ **設定済みの項目を消去するときは**

① 手順 5 で、消去したい項目を選ぶ
② [キャッチ/消去] を押す
③ もう一度、[キャッチ/消去] を押す

■ **アニメーションの内容を確認するときは**

① 手順 3 で、「アニメーション確認」を選ぶ
② [/決定] を押す
③ 確認したいアニメーションを選ぶ
④ [/決定] を押す

イヌ

ネコ

アヒル

カエル

クマ

ウサギ

■ **1 つ前に戻るときは**

[戻る] を押します。

■ **アニメーション表示をさせないときは**

① 手順 4 で、「しない」を選ぶ
② [/決定] を押す
※ 項目ごとにアニメーションの非表示を設定することはできません。

お知らせ

● アニメーションを個別に設定した相手先からの未読メールと、アニメーション設定が「設定者以外」になっている相手先からの未読メールがあるときは、個別に設定されているアニメーションが優先して表示されます。
● 電話帳にメールアドレスが最後まで入力されていないと、設定したアニメーションは表示されません。

名前表示を設定する

親機の電話帳に登録している相手先からのメールを受信したときに、電話帳に登録されている相手先の名前を表示する／しないの設定を変更することができます。
アニメーション設定（☞6-37ページ）に登録した項目ごとに、名前を表示する／しないの設定をすることはできません。

操作のしかた

1 登録 を押し、▲または▼で「おもしろ便利機能設定」を選ぶ

2 L/決定 を押し、「誰からメール」を選ぶ

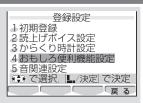
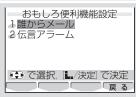
3 L/決定 を押し、▲または▼で「名前表示設定」を選ぶ

4 L/決定 を押し、「する」を選ぶ

● 「しない」を選んでＬ/決定ボタンを押すと、名前表示をしない設定になります。

5 L/決定 を押す

6 停止 を押す

●待機画面に戻ります。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **複数のメールを受信したときは**

名前表示設定を「する」にしているときに複数の相手先からメールを受信した場合、「Ｌモード」にメールが届いた順番に相手先の名前を表示します。

<表示例>

「○○,××,△△からの未読メールがあります。…」

相手先の名前を表示します。

※親機の電話帳に登録されていない相手の方や、電話帳にメールアドレスが登録されていない相手の方の名前を除いて、５件まで名前を表示します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

お知らせ

● 誰からメール機能を使うときは、あらかじめ相手先の名前、メールアドレスなどを親機の電話帳に登録しておいてください。
● 親機の電話帳に登録されていない相手の方や、親機の電話帳にメールアドレスが登録されていない相手の方の名前は表示されません。
● 親機の電話帳に登録されている名前やメールアドレスを修正または削除すると、誰からメールの登録内容も更新されます。
ただし、電話帳の内容を修正・削除したあとは、Ｌ/決定ボタンまたはメールボタンを押してから、停止ボタンを押す操作を行ってください。この操作を行うと、誰からメールの内容が変更されます。
● 同じ相手からメールを受信しているときは、同じ名前を複数表示することがあります。

受信メールを保護する

残しておきたい受信メールを保護しておくと、誤って削除することを避けられます。保護を解除することもできます。

操作のしかた

1 受信メール一覧を表示する
（☞6-36ページ 手順1～3）

2 ▲または▼で保護したい受信メールを選ぶ

3 決定を押す

● メールの内容が表示されます。

4 メニューを押す

5 ▲または▼で「保護/解除」を選ぶ

6 決定を押す

●選択したメールに保護機能が設定され、受信メール一覧のメール名の先頭に、🔑 が表示されます。

✉……………まだ読んでいないメール
（空白）………すでに読んだメール
🔑………………保護されているメール

■ 途中でやめるときは

停止を押します。（待機画面に戻ります。）

■ メールの保護を解除するときは

再度手順1～6の操作を行うと保護が解除されます。

■ 保護されているメールを削除するときは

① 受信メール一覧を表示する
（☞6-36ページ 手順1～3）
② ▲または▼で、削除したい保護メールを選ぶ
③ 決定を押す
④ メニューを押す
⑤ ▲または▼で「削除」を選ぶ
⑥ 決定を押す
⑦ ▲または▼で「はい」を選ぶ
⑧ 決定を押す

お知らせ

● 保護機能が設定できるのは、すでに読んだメールで50件までです。
● 99件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールが自動的に削除されます。

メールに返事を出す／転送する

メールに返事を出す（返信）

メールをもらった相手に返事を出すことができます。（返信メール）
相手の方のメールアドレスと題名は、受信したメールを利用して自動的に設定されますので、本文を入力するだけで送信できます。

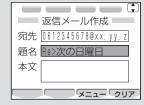
操作のしかた

1 受信メールを表示する
（☞6-36ページ）

2 メニュー を押す

3 ▲または▼で「返信」を選ぶ

●「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（☞6-49ページ）
送信済メールと未送信メールは合わせて50件まで保存できます。

4 決定 を押す

●返信メール作成画面が表示されます。

5 本文を入力して、送信する
（☞6-24〜6-26ページ）

●返信メールの題名には自動的に「Re>」が付加されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 返信メールの宛先や題名を編集することができます。
- 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。
- 絵文字は本文と題名に利用可能です。

メールを他の宛先に転送する

受信したメールの内容を他の人に知らせたいときに、受信したメールを転送することができます。
転送するとき、受信メールの題名と本文は自動的に入力されていますので、転送したい相手のメールアドレスを入力するだけで送信できます。

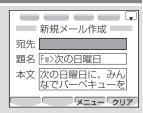
操作のしかた

1 受信メールを表示する
(☞6-36ページ)

2 メニュー を押す

3 ▲ または ▼ で「転送」を選ぶ

● 「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください（☞6-49ページ）。送信済メールと未送信メールは、合わせて50件まで保存できます。

4 L/決定 を押す

●メール入力画面が表示されます。

5 宛先を入力して、送信する
(☞6-24～6-26ページ)

●転送するメールの題名には自動的に「Fw>」が付加されます。

●文字の入力モードが半［英］のとき ＊ を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
＊ を押して、文字を選んだあとL/決定ボタンを押します。

「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」「www.」

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

● 転送するメールの題名や本文を編集することができます。
● 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
● メールアドレスに絵文字は使用できません。

相手のメールアドレスを電話帳に登録する

受信メールを利用して、発信者のメールアドレスを電話帳に登録します。その場合、新たに電話帳が追加されます。

操作のしかた

1 アドレスを登録したい受信メールを表示する
（☞6-36ページ）

11/29 15:00 01/03件
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー クリア

2 メニュー を押す

3 ▲または▼で「電話帳登録」を選ぶ

4 決定 を押す

- 電話帳登録画面が表示されます。
- すでに電話帳に100件登録されていて、新しく登録することができないときは、受信メール内容表示に戻ります。不要な電話帳を消去（☞2-16ページ）してからもう一度操作をやり直してください。

5 電話帳に名前、読み、電話番号を登録する
（☞2-11～2-12ページの手順4～10）

6 決定 を押す

- 登録が終わると、受信メールを表示します。

7 登録が終わったら 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

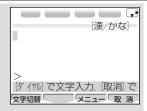
停止 を押します。

定型文を入れる

定型文を入れる

メールの「宛先」「題名」「本文」を入力や編集するときに、定型文を挿入することができます。定型文は、あらかじめ10件登録されていて、編集することもできます。

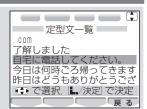
操作のしかた

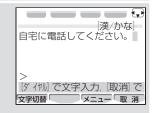
1 文字入力モードに切り替える
(☞6-8～6-10ページ)

2 メニュー を押し、「定型文挿入」を選ぶ

3 /決定 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。（待機画面に戻ります。）

4 ▲ または ▼ で挿入したい定型文を選ぶ

あらかじめ登録されている定型文は
「.co.jp」、「.ne.jp」、「.or.jp」、「www.」、「.com」、
「了解しました。」、
「自宅に電話してください。」、
「今日は何時ごろ帰ってきますか？」、
「昨日はどうもありがとうございました。」、
「ごめんなさい。待ち合わせに30分ほど遅れます。」

5 /決定 を押す

●選択した定型文が表示エリアに表示されます。

お知らせ

- 挿入した後の定型文を編集することができます。
- 定型文を挿入したときに、入力可能な文字数を超えた場合、入力可能な文字数だけ挿入されます。

定型文を編集する

登録されている定型文を編集し、登録（上書き）することができます。

操作のしかた

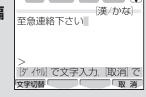
1 [決定]を押し、[▲]または[▼]で「メール」を選ぶ

2 [決定]を押し、[▲]または[▼]で「定型文編集」を選ぶ

3 [決定]を押し、[▲]または[▼]で編集したい定型文を選ぶ

4 [決定]を押す

●文字入力モードに切り替わります。

5 定型文の文字を編集する
(☞6-8〜6-10ページ)

●編集は、１件あたり全角25文字（半角50文字）の範囲で行えます。

6 [決定]を押す

●編集された定型文が登録されます。

■ **途中でやめるときは**

[停止]を押します。（待機画面に戻ります。）

メールを編集する

送信済メールを編集する

送信済メールの内容を編集して未送信メールとして保存することができます。編集前のメールもそのまま残ります。

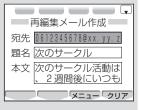
操作のしかた

1 編集したい送信済メールの内容を表示する
（☞6-36ページ）

05/16 15:00 01/03件
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次のサークル
次のサークル活動は、２週間後にいつもの場所で行います。
メニュー　クリア

2 メニュー **を押す**

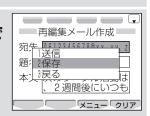
3 「再編集」を選ぶ

4 /決定 **を押す**

●メールの入力画面が表示されます。

5 内容を修正する

①▲または▼で修正する項目を選ぶ
②Ｌ/決定ボタンを押す
③文字を修正する
（☞6-8～6-10ページ）
④Ｌ/決定ボタンを押す

6 メニュー **を押す**

7 ▲ **または** ▼ **で「保存」を選ぶ**

●送信するときは、「送信」を選びます。

8 /決定 **を押す**

●新しい未送信メールとして保存されます。編集前のメールもそのまま残ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

お知らせ

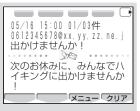
● 手順４で「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示されたときは、すでに未送信メールと送信済メールが合わせて50件保存され、新しいメールが保存できない状態にあります。不要な未送信メールまたは送信済メールを削除して（☞6-49ページ）からもう一度操作をやり直してください。

● 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

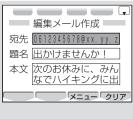
未送信メールを編集する

未送信メールの内容を編集して保存することができます。（編集前のメールに上書きされます。）

操作のしかた

1 編集したい未送信メールの内容を表示する
（☞6-36ページ）

2 メニュー を押す

3 「編集」を選ぶ

4 L/決定 を押す

●メールの入力画面が表示されます。

5 内容を修正する

①▲または▼で修正する項目を選ぶ

②L/決定ボタンを押す

③文字を修正する
（☞6-8～6-10ページ）

④L/決定ボタンを押す

6 メニュー を押す

7 ▲または▼で「保存」を選ぶ

●送信するときは、「送信」を選びます。

8 L/決定 を押す

●編集前のメールに上書きして保存されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

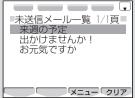
お知らせ

● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

未送信メールを一括送信する

保存されている未送信メールを一度の操作ですべて送信することができます。（一括送信）

操作のしかた

1 「未送信メール一覧」を表示する
（☞6-36ページ手順１～３）

2 メニュー を押す

3 ▲ または ▼ で「全件送信」を選ぶ

4 L/決定 を押す

●未送信メールがすべて送信されます。

●「Ｌモード」と回線がつながっていなかった場合でも、自動的に回線を接続してメールを送信します。

5 送信が終わったら「はい」を選ぶ

●「いいえ」を選んでＬ/決定ボタンを押すと回線が切断されずにメールメニュー画面に戻ります。

6 L/決定 を押す

●メールメニュー画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ メールの送信を途中で止めるときは

「接続中」の表示が出ている間に L/決定 を押してください。送信が中止されてメールメニュー画面に戻ります。「メール送信中」の表示が出ている間に L/決定 を押すと、メール送信が完了したメールは未送信メール一覧から削除されています。

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（　）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

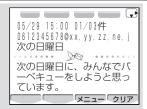
お知らせ

●「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

メールを削除する

受信メール・送信済メール・未送信メールを削除することができます。保護したメールを削除することもできます。

操作のしかた　（例）送信済メールを削除する場合

1 削除したいメールの内容を表示する
（☞6-36ページ）

2 メニュー を押し、▲または▼で「削除」を選ぶ

3 決定 を押し、▲で「はい」を選ぶ

●削除をやめるときは、「いいえ」を選んでください。

4 決定 を押す

●次のメールの内容が表示されます。停止ボタンを押すと、待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **受信メール・送信済メール・未送信メールをすべて削除するときは**

① 6-36ページの手順1～3の操作で削除したいメールの一覧（受信メール一覧／送信済メール一覧／未送信メール一覧）を表示する

② メニュー を押し、「全件削除」を選ぶ

③ 決定 を押し、▲で「はい」を選ぶ

④ 決定 を押す

削除をやめるときは、③で「いいえ」を選び、決定 を押してください。

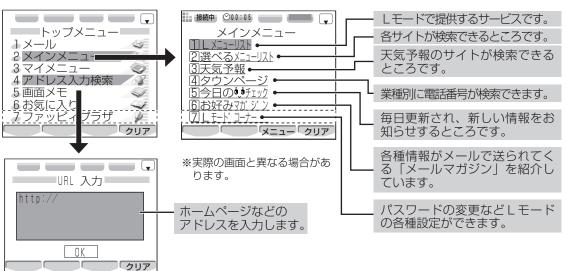
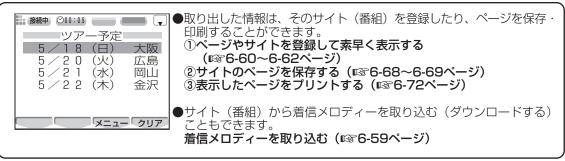
（保護メール、未読メールがある場合は、「保護メール（または未読メール）を削除しますか？」と表示されます。「はい」を選んで 決定 を押すと保護メールや未読メールもすべて削除されます。）

第6章
Lモード〈ブラウザ〉

ページ

ブラウザサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-52
暗号化通信について
　暗号化通信のしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-53
サイト（番組）を表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-54
暗号化サイトへ接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-56
画面上での操作のしかた
　チェックボックス付き項目を選択する・・・・・・・・・・・・・・・ 6-57
　ラジオボタン付き項目を選択する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-57
　プルダウンメニューから項目を選択する・・・・・・・・・・・・ 6-58
着信メロディーを取り込む（着信メロディーダウンロード）
　サイトなどから着信メロディーを取り込む・・・・・・・・・・・・6-59
ページやサイトを登録して素早く表示する
　ページやサイトをお気に入りに登録する・・・・・・・・・・・・ 6-60
　お気に入りからサイトを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-61
　お気に入りのタイトルを編集する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-62
マイメニューを使う
　マイメニューに登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-63
　マイメニューからサイトを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-64
ページを再読み込みする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-65
URLを入力してページを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-66
サイトのページを保存する（画面メモ）
　画面メモを保存する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-68
　画面メモを表示する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-68
　画面メモを削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-69
画面メモを親機の待機画面に使用する・・・・・・・・・・・・・・・ 6-70
画面に表示したページをプリントする・・・・・・・・・・・・・・・ 6-72
サイトからダウンロードしたデータを
　プリントする（コンテンツ印刷）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-73
電話帳やお気に入りデータをアップロード（送信）する・・ 6-74
電話帳やお気に入りデータをダウンロード（受信）する・・ 6-75
PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う
　PHONE TO機能を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-76
　MAIL TO機能を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-76
　FAX TO機能を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-77
　WEB TO機能を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-77

ブラウザサービスについて

天気予報やタウン情報など生活に役立つ情報を取り出すことができます。
また、アドレス（URL）を入力するとインターネット上のホームページなども見ることができます。

※実際の画面と異なる場合があります。

●取り出した情報は、そのサイト（番組）を登録したり、ページを保存・印刷することができます。
①ページやサイトを登録して素早く表示する
（☞6-60〜6-62ページ）
②サイトのページを保存する（☞6-68〜6-69ページ）
③表示したページをプリントする（☞6-72ページ）

●サイト（番組）から着信メロディーを取り込む（ダウンロードする）こともできます。
着信メロディーを取り込む（☞6-59ページ）

アドバイス！

※「切り忘れ防止タイマー」（☞6-18ページ）
この機能は、「Ｌモード」へ接続中に何も操作しなかった時、自動的に「Ｌモード」の接続を切断する機能です。
「Ｌモード」の接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「2分」に設定されています。

※通信料金を節約してサイト（番組）のページを見る
インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に （キャッチ/消去）を押すと、表示しているページはそのままで、「Ｌモード」の接続を切断することができます。
通信料金を節約してページを見るときに便利です。

お知らせ

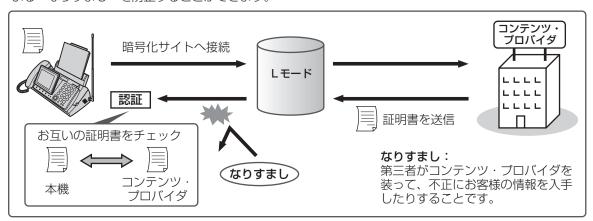
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。

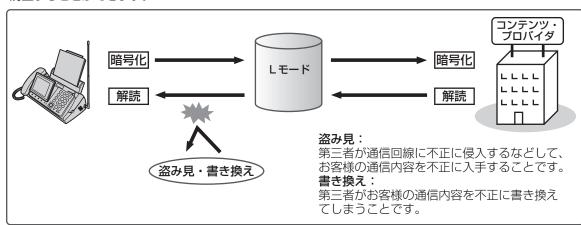
暗号化通信について

本機から特別な操作なしに、対応サイト（暗号化サイト）と暗号化通信を行うことができます。
暗号化通信とは、認証や暗号の技術を使用することで、プライバシーを保護して安全なデータ通信を行う通信方式です。本機と暗号化サイトとの間で、データ通信前に証明書による認証を実施するとともに、データを暗号化して送受信することで、第三者による“なりすまし”や通信途中でのデータの“盗み見”“書き換え”を防止し、クレジットカードや住所など、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

暗号化通信のしくみ

認証機能

実際にデータのやり取りを行う前に、コンテンツ・プロバイダ（情報提供者）から送られてくる証明書（認証局という公的な機関が、コンテンツ・プロバイダの本人性を証明するために発行するもの）と、本機が持つ証明書をチェックし、双方の証明書が、確かに同一の認証局から発行されたものであるかを確認します。
また、コンテンツ・プロバイダから送られてきた証明書を表示し、その内容を確認することで、第三者による“なりすまし”を防止することができます。

暗号機能

コンテンツ・プロバイダの認証後に、データを暗号化して送受信します。暗号化したデータは、本機とコンテンツ・プロバイダ以外は解読することができませんので、第三者によるデータの盗み見や書き換えを防止することができます。

お知らせ

- Ｌモードの暗号化通信は、SSL（Secure Socket Layer）という認証／暗号技術を使用しています。
- 暗号化通信を正常に動作させるには、親機の日付・時刻設定（☞1-34ページ）を正しく行ってください。

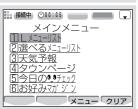
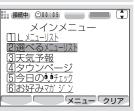
サイト（番組）を表示する

サイト（番組）をご覧になるときは、まず目次にあたる「メインメニュー」を表示させせます。「メインメニュー」からお好きな項目を選択していき、サイト（番組）を表示します。

操作のしかた

1 [/決定] を押し、(▲) または (▼) で「メインメニュー」を選ぶ

●親機の電源がOFFになったり、停電になった時は、再度Lモードの利用設定をしてください。（☞6-5ページ）

2 [/決定] を押す

3 (▲) または (▼) でお好きな項目を選ぶ

4 [/決定] を押す

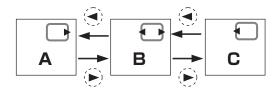
5 見たいサイトが表示されるまで手順 3～4 の操作を繰り返す

●L 回線断ボタンを押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。通信料金を節約してページ内容を見たいときなどに操作してください。

※実際の画面とは異なることがあります

■ 1つ前の画面に戻るときは

が表示されているときは を押してください。

（例）ページをA→B→Cと表示してきた場合

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 「Ｌモード」を終了するときは

停止 を押します。

■ 画像データを表示させたくないときは

画像表示で画像データを表示させないようにすることができます。（☞6-20ページ）

■ 表示したページをプリントするには

（☞6-72ページ）

お知らせ

- Ｌ/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30〜60秒程度かかります。
- 回線の状態によっては、まれに「Ｌモード」に接続できない場合があります（「センターとの接続に失敗しました。」が表示されます）。
- 回線の状態によっては、サイトが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。
- 回線の状態によっては、まれに「Ｌモード」との接続が切断されることがあります。
  また、「Ｌモード」に接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。
  （「センターとの接続が切断されました。」と画面表示され、表示していたブラウザマークが消えます。）
  この場合は、Ｌ/決定ボタンを押して「センターとの接続が切断されました。」の画面表示を消し、もう一度Ｌ/決定ボタンを押して「Ｌモード」への接続の操作を始めてください。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 通信を中断した場合、あるいはホームページが正しく表示されなかった場合でも、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。
- 「Ｌモード」と接続が失敗した場合でも通信料金がかかります。
- GIF、JPEG形式以外の画像データを表示することはできません。その場合、画像の位置に ☒ を表示します。GIF、JPEG形式の画像データであっても表示できない場合があります。

暗号化サイトへ接続する

暗号化サイトとは、データをやりとりする際に、暗号化通信を行うことで、データの盗み見や書き換え、なりすましを防ぐ、安全性の高いサイトです（確実な安全性を保証するものではありません。）。暗号化サイトに接続すると、確認画面が表示された後、暗号化通信が開始されます。

操作のしかた

1 暗号化サイトを表示する
（☞6-54～6-55ページ）

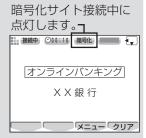
- 暗号化サイトへの接続前に、認証中画面が表示されます。
- 「中断」を選んでL/決定ボタンを押すと、接続を中止して前の画面に戻ります。

2 暗号化サイトが表示される

暗号化サイト接続中に点灯します。

- 暗号化通信が開始され、画面上部に 暗号化 マークが点灯します。

3 他のサイトへ移動する

- 通常のサイトへ移動しようとすると、確認画面が表示されます。

4 「OK」を選ぶ

5 L/決定 を押すと、暗号化通信が終了する

- 暗号化 マークが消灯します。

■ 暗号化サイトの証明書を表示するには

① 暗号化サイトの表示中に、 メニュー を押します。

② 「証明書参照」を選んで L/決定 を押します。

■ 証明書の有効／無効を設定するには

「証明書設定」（☞6-19ページ）で設定します。

■ 「接続先を認証できませんでしたが続けますか？」と表示されたときは

- ・サイトの証明書に本機の証明書が対応していない
- ・サイトの証明書の有効期限が切れている
- ・本機の証明書の有効期限が切れている
- ・親機の日付・時刻設定が正しく設定されていない

などの理由により、上記の確認画面が表示されることがあります。

このときは、「はい」を選んで L/決定 を押すと、証明書による認証を省略して暗号化通信を行います。認証できないサイトへの接続による損害等については、NTTはその責任を負いませんのでご注意ください。

「いいえ」を選んで L/決定 を押すと、接続を中止して前の画面に戻ります。

お知らせ

- 暗号化通信を正常に動作させるには、親機の日付・時刻設定（☞1-34ページ）を正しく行ってください。

画面上での操作のしかた

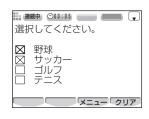
画面に表示された選択肢の中から項目を選んで操作する方法は、チェックボックス、ラジオボタン、プルダウンメニューがあります。それぞれ操作方法や選択できる数などが異なります。

チェックボックス付き項目を選択する

チェックボックスは、選択肢の中から複数の項目を選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。

①ページ表示中に ▲ または ▼ で、選択するチェックボックス（ □ ）に操作対象の選択を移動する
選ばれた枠が太線枠に変わります。
すでに選択されている項目は ☒ で表示されています。

操作対象の選択がされているときは太線枠で囲まれます。

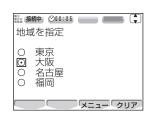
② 決定 を押す
項目が選択され、□ が ☒ に変わります。
複数の項目を選択できます。
選択を取り消すには、取り消す項目（ ☒ の項目）に操作対象の選択を移動して 決定 ボタンを押します。
☒ が □ に戻ります。

ラジオボタン付き項目を選択する

ラジオボタンは、選択肢の中から１つだけ選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。

①ページ表示中に ▲ または ▼ で、選択するラジオボタン（ ○ ）に操作対象の選択を移動する
選ばれたラジオボタンが太線枠で囲まれます。

操作対象の選択がされているときは太線枠で囲まれます。

接続中 00:05
地域を指定
東京
大阪
名古屋
福岡
メニュー クリア

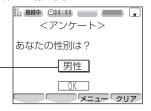
② 決定 を押す
項目が選択され、「大阪」の ◯ が ⊙ に変わります。
同時に「東京」の ⊙ が ○ に変わります。
複数の項目を選択することはできません。

お知らせ

- パスワードの入力画面で「□ 保存する」のチェックボックスを ▲ または ▼ で選択して 決定 を押すと、入力したパスワードが保存されます。この操作を行っておくと以降のパスワードの認証処理が自動的に行われますので、次回からパスワードを入力する必要がなくなります。

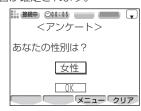
プルダウンメニューから項目を選択する

プルダウンメニューは、選択肢が見えない状態で表示されるメニューです。
ページ内では影付きで表示され、プルダウンメニューを選ぶと、選択肢が一覧表示されます。

①ページ表示中に▲または▼で、操作対象の選択をプルダウンメニュー（男性）に移動する
選ばれた枠が太線に変わります。

操作対象の選択がされているときは太線枠で囲まれます。

②決定を押す
選んだプルダウンメニューが一覧表示されます。
一度にすべての選択肢が表示されない場合があります。
その場合は、▲または▼で全選択肢を順に表示できます。

③▲または▼で項目を選ぶ
選んだ項目が反転表示されます。
項目を選ばずに一覧を閉じるには クリア を押します。

④決定を押す
選んだ項目が確定されます。

着信メロディーを取り込む（着信メロディーダウンロード）

サイトなどから着信メロディーを取り込む

サイト（番組）等から、最新の曲やお好みの曲を取り込んで（ダウンロードして）着信音として利用することができます。3曲までダウンロードできます。

操作のしかた

1 着信メロディーが掲載されているサイトを表示する

（☞6-54～6-55ページ）

2 着信メロディーをダウンロードする

●着信メロディーのダウンロード方法は各サイトで異なります。

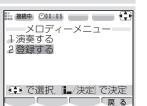
3 ▲または▼で「登録する」を選ぶ

4 /決定 を押す

5 ▲または▼で保存する場所を選ぶ

●1～3に保存することができます。1～3は「親機呼出音切替」の7～9になります。（☞1-28ページ）
すでに着信メロディーが保存されているときは、タイトルが表示されています。（最大全角10文字）

6 /決定 を押す

●すでに保存されている着信メロディーを選んだときは、上書き保存確認画面が表示されます。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（　）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **ダウンロードした着信メロディーを呼出音に設定するには（☞1-28～1-29ページ）**

お知らせ

● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

ページやサイトを登録して素早く表示する

ページやサイトをお気に入りに登録する

ページやサイトのアドレス（URL）を、短いタイトルをつけて登録しておくことができます。（お気に入り）
よく見るページを登録しておくと、お気に入りを選択するだけで簡単にそのページを表示できます。

操作のしかた

1 ページを表示中に メニュー を押す

2 「お気に入り登録」を選ぶ

3 決定 を押す

●表示されていたページがお気に入りに登録されます。

■ **「お気に入りが一杯です。削除してください。」と表示されたときは**

すでに20件登録されています。新しく登録するときは不要なお気に入りを削除してください。

■ **登録されているお気に入りを確認するときは**

① 待機画面を表示中に 決定 を押す
② ▲ または ▼ で「お気に入り」を選ぶ
③ 決定 を押す
　登録したお気に入り一覧が表示されます。

■ **登録されているお気に入りを削除するときは**

① お気に入りを確認する操作をする
② ▲ または ▼ で削除したいお気に入りを選ぶ
③ メニュー を押す
④ ▲ または ▼ で「一件削除」を選ぶ
⑤ 決定 を押す
⑥ ▲ で「はい」を選び、決定 を押す
　お気に入りが削除され、お気に入り一覧画面になります。

■ **登録されているお気に入りをすべて削除するときは**

① お気に入りを確認する操作をする
② メニュー を押す
③ ▲ または ▼ で「全件削除」を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ ▲ で「はい」を選び、決定 を押す
　お気に入りがすべて削除されます。

■ **お気に入りと画面メモ（☞6-68〜6-69ページ）の違い**

お気に入りからページを表示するときは、「Lモード」を介して最新の内容を受信し、表示します。画面メモを表示するときは、通信は行われずに保存時の内容がそのまま表示されます。内容の更新が多いページは、お気に入りに登録すると常に最新の状態を表示できます。

お知らせ

- お気に入りは最大20件まで登録することができます。
- お気に入りのタイトルは、全角８文字（半角16文字）まで登録できます。全角８文字を超えるタイトルの場合、９文字目からは登録されません。
- タイトルがないページを登録したときは、そのページのURL（アドレス）が登録されます。
- 登録したお気に入りは停電があっても保存されています。

お気に入りからサイトを表示する

操作のしかた

1 [決定] を押す

2 [▲] または [▼] で「お気に入り」を選ぶ

3 [決定] を押す

- お気に入り一覧画面が表示されます。
- お気に入りのタイトルを編集するには（☞6-62ページ）

4 [▲] または [▼] で表示したいお気に入りを選ぶ

5 [決定] を押す

- 「Lモード」に接続して、お気に入り登録されているページが表示されます。

■ **ページ表示中にお気に入りからサイトを表示するには**

① ページを表示中に [メニュー] を押す
② [▲] または [▼] で「お気に入り一覧」を選ぶ
③ [決定] を押す
お気に入り一覧画面が表示されます。
④ [▲] または [▼] で表示したいお気に入りを選んで、[決定] を押す
お気に入り登録されているページが表示されます。

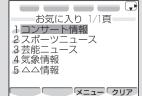
お知らせ

- お気に入り一覧画面で、タイトルの前の番号をダイヤルボタンで入力してサイトを表示させることができます。

お気に入りのタイトルを編集する

操作のしかた

1 「お気に入りからサイトを表示する」操作の手順1～3を行う
（☞6-61ページ）

2 ▲または▼で編集したいお気に入りを選ぶ

3 メニュー を押す

4 「タイトル編集」を選ぶ

5 決定 を押す

●タイトル編集画面が表示されます。
●タイトル名が表示されない場合があります。

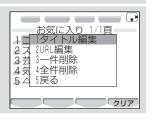
6 決定 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

7 新しいタイトルを入力する
（☞6-8～6-10ページ）

8 決定を押し、▼で「OK」を選ぶ

9 決定 を押す

●お気に入りの画面にもどります。

■ **お気に入りのURL（アドレス）を編集するには**

登録されているお気に入りのURL（アドレス）を編集することができます。文字数は最大で、全角250文字（半角500文字）までです。

① 「お気に入りのタイトルを編集する」操作の手順3までを行う
② ▲または▼で「URL編集」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ URLのテキストボックスが選択されている状態で 決定 を押す
URL編集画面が表示されます。
⑤ URLを編集する
文字の訂正や入力は☞6-8～6-10ページを参照してください。
⑥ 決定 を押す
⑦ ▼を押して「OK」を選択する
⑧ 決定 を押す

お知らせ

● お気に入りのタイトルを編集した場合、登録できるのは全角8文字（半角16文字）までです。
●お気に入りのタイトルを編集しても登録されている順序は変更されません。
● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
● 情報量が多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
● GIF、JPEG形式以外の画像は表示できません。

マイメニューを使う

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。
マイメニューは「Ｌモード」に登録されます。
マイメニューの登録については、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

操作のしかた

1 登録するサイトを表示する
（☞6-54～6-55ページ）

2 ▲または▼で「マイメニュー登録」を選ぶ

●サイトによりページ構成が異なります。該当する項目（契約や登録など）を選んでください。

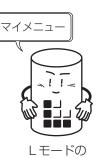
3 [/決定]を押す

●マイメニューにサイトが登録されます。

■ **お気に入り（☞6-60～6-62ページ）とマイメニューの違い**

お気に入りとマイメニューは、URLのデータを登録する場所が異なります。
お気に入りのデータは、親機に登録されるのに対し、マイメニューは、「Ｌモード」のサーバーに登録されます。

親機の
メモリー

Ｌモードの
サーバー

マイメニューからサイトを表示する

操作のしかた

1 [決定] を押し、[▲] または [▼] で「マイメニュー」を選ぶ

2 [決定] を押す

●登録されているマイメニューが一覧表示されます。

3 [▲] または [▼] で表示したいマイメニューを選ぶ

4 [決定] を押す

●登録されているサイトが表示されます。

■ マイメニューの登録を解除するときは

登録したサイトを表示し、「マイメニュー解除」（解約や削除など、サイトにより異なります）を選びます。

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

[回線断 キャッチ/消去] を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、[回線断 キャッチ/消去] を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF, JPEG形式以外の画像は表示されません。

ページを再読み込みする

表示中のページの内容を受信し直します。画像が正常に表示できなかったときや、ページの内容を最新のものに更新するときなどに行います。

操作のしかた

1 再読み込みするページが表示された状態で メニュー を押す

2 ▲ または ▼ で「再読込」を選ぶ

3 /決定 を押す

●再読み込みした情報で、表示中のページが再表示されます。

■「Lモード」を終了させるときは

停止 を押します。

■「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

L回線断 キャッチ/消去 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、L回線断 キャッチ/消去 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF，JPEG形式以外の画像は表示されません。

URLを入力してページを表示する

ページには「URL」と呼ぶアドレスが付いています。これを入力して、個人、団体、企業などが開設しているさまざまなページを表示できます。

操作のしかた

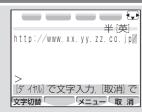
1 [決定]を押し、[▲]または[▼]で「アドレス入力検索」を選ぶ

2 [決定]を押す

- URL のテキストボックスが太線の枠でオレンジ色に表示されていないときは、[▲]または[▼]でURLのテキストボックスを選んでください。
- 2 回目からは、前回入力したURLが表示されます。別のページを表示するには以下の手順で修正（変更）してください。

3 URLのテキストボックスが選ばれていることを確認して[決定]を押す

- 2 回目からは、前回入力したURLが表示されます。

4 URL（アドレス）を入力する

- 文字の入力方法は、6-8〜6-10ページを参照してください。
- 入力するときは、大文字と小文字、全角と半角に注意してください。
- 変更するときは、取消ボタンを押して不要な文字を消してから、入力しなおしてください。

5 [決定]を押す

6 [▼]を押して「OK」を選ぶ

7 [決定]を押す

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。

■ **URL（アドレス）に使用できる文字と文字数は**

URLに使用できる文字は、半角数字、半角英字です。また漢字、全角かな、全角英字、全角数字、半角カナ、半角英字、半角記号、半角数字、区点です。文字数は最大全角250文字（半角500文字）までです。

■ **表示しているページのURLを確認するには**

① ページを表示中に [メニュー] を押す
② [▲] または [▼] で「URL参照/編集」を選ぶ
③ [L/決定] を押す

■ **「Lモード」を終了させるときは**

[停止] を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

[L回線断 キャッチ/消去] を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに [L回線断 キャッチ/消去] を押すとページは表示されたまま回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

● 指定できるURLは１回に１つです。
● URLを入力したあと回線接続中に操作を中止するときは、「接続中」または「取得中」と画面表示されている間にＬ/決定ボタンを押してください。
● 手順３のあと、テキストボックスには「http://」が自動的に入力されています。
● 入力するURLの先頭には必ず「http://」または「https://」を付けてください。「http://」または「https://」がないとページに接続できません。
● 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
● 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
● GIF，JPEG形式以外の画像は表示されません。

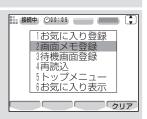
サイトのページを保存する（画面メモ）

表示中のサイトのページを「画面メモ」として保存することができます。保存した画面メモは「Ｌモード」と通信せずにいつでも表示できますので、たとえば、料理のレシピや乗換案内など、一度表示した画面をあとから利用したいときに便利です。

画面メモを保存する

操作のしかた

1 ページを表示中に メニュー を押す

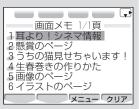
2 ▲ または ▼ で「画面メモ登録」を選ぶ

3 決定 を押す

●すでに画面メモが７件登録されているときは、「画面メモが一杯です。削除してください。」と表示され新しく画面メモを保存できません。

画面メモを表示する

操作のしかた

1 待機画面を表示中に 決定 を押し、▲ または ▼ で「画面メモ」を選ぶ

2 決定 を押し、▲ または ▼ で表示したい画面メモを選ぶ

●保存されている画面メモが一覧表示されます。画面メモが保存されていないときは、「画面メモはありません。」と表示されます。

3 決定 を押す

4 画面メモを見る

●他に登録されている画面メモがあるときは、◀▶などが表示されます。▶ を押すと次の画面メモを表示します。◀ を押すと１つ前の画面メモを表示します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

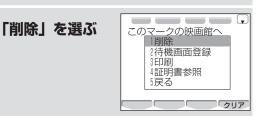
画面メモを削除する

操作のしかた

1 削除したい画面メモを表示する
（☞6-68ページ）

2 メニュー を押す

3 「削除」を選ぶ

4 /決定 を押す

5 ▲で「はい」を選ぶ

●削除をやめるときは「いいえ」を選んでください。

6 /決定 を押す

●画面メモを削除すると、次の画面メモが表示されます。
残り1件の画面メモを削除したときは「画面メモはありません。」と表示されます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 画面メモに保存している画像を待機画面として使用するときは（☞6-70～6-71ページ）

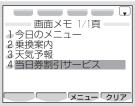
お知らせ

- 画面メモは7件まで保存できます。ただしページの情報量によっては保存できる件数が少なくなることがあります。
- リンク先のあるページも画面メモに保存することができます。画面メモからリンク先を選択すると、「Lモード」に接続され、リンク先のページが表示されます。
- 画像表示（☞6-20ページ）を「表示しない」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。（その後画像表示設定を「表示する」にしてから画面メモを表示させても、画像は表示されません。）
- 画面メモ内からも、PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えます。（☞6-76～6-77ページ）

画面メモを親機の待機画面に使用する

画面メモ（☞6-68～6-69ページ）に保存している画像や、サイト内の画像を待機画面として使用することができます。

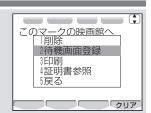
操作のしかた

1 待機画面を表示中に［決定］を押し、▲または▼で「画面メモ」を選ぶ

2 ［決定］を押し、▲または▼で表示したい画面メモを選ぶ

●保存されている画面メモが一覧表示されます。画面メモが保存されていないときは、「画面メモはありません。」と表示されます。

3 ［決定］を押す

4 **を押す**

5 ▲または▼で「待機画面登録」を選ぶ

6 ［決定］を押し、画像を選択する

●選択されている画像データがオレンジ色の枠で囲まれます。

●他の画像を選択するときは、▲または▼でオレンジ色の枠を移動させます。

7 ［決定］を押す

●画像が取り込まれると、「ピー」という音が鳴りオレンジ色の枠が消えます。

8 ［停止］を押す

9 待機画面の設定を「ダウンロード画像」にする
（☞5-2ページ）

●「からくり時計」「内蔵アニメーション」「カレンダー」に設定されていると、選択した画像が表示されません。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **サイト内の画像を親機の待機画面に使用するときは**

① 使用したい画像のあるサイトを表示する
（☞6-54ページ）

② メニュー を押す

③ ▲ または ▼ で「待機画面登録」を選ぶ

④ 手順６～９の操作をする

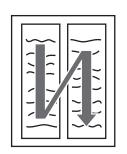
お知らせ

● 選択した画像が１画面を超える場合は、表示不可能な部分が削除されます。

● 手順７でＬ/決定ボタンを押したあとに、着信があったり受話器を上げたりした場合、待機画面に登録できない場合があります。また、すでに保存されていた画像が消えてしまうことがあります。

画面に表示したページをプリントする

メールの内容や、サイトのページを記録紙に印刷することができます。（ページプリント）

● 長いページ（コンテンツ）をプリントするときは、左右に並べてプリントするため経済的です。（メールは左右に並べてプリントできません。）

操作のしかた

1 印刷したいメールの内容やページを表示する

●Ｌ回線断ボタンを押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。続けて手順２から操作してください。
●印刷したいページを表示させたあと、コピー/印刷ボタンを押しても印刷することができます。

2 メニュー を押し、▲または▼で「印刷」を選ぶ

3 /決定 を押す

●印刷確認画面が表示されます。

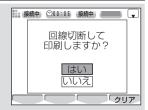
4 ▲または▼で「はい」を選ぶ

●印刷をしないときは、「いいえ」を選びます。

5 /決定 を押す

●印刷が始まります。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ

● ページを記録紙に印刷するときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。
● プリント中は、子機の使用はできません。

サイトからダウンロードしたデータをプリントする（コンテンツ印刷）

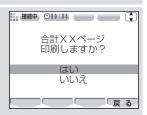
サイトからダウンロードした印刷用データを、記録紙にプリントすることができます。（コンテンツ印刷）
Ｌモードサイトの内容をプリントするページプリント（☞6-72ページ）とは異なり、コンテンツ印刷では、ダウンロードした印刷専用データをプリントします。

操作のしかた あらかじめ記録紙をセットしておいてください。

1 印刷用データを提供しているサイトを表示する

2 サイトから印刷用データをダウンロードする

●ダウンロードの方法はサイトによって異なります。各サイトの案内にしたがって操作してください。

3 「はい」を選ぶ

●印刷をしないときは、「いいえ」を選んでＬ/決定ボタンを押します。

4 [Ｌ/決定] を押し、「はい」を選ぶ

●「いいえ」を選んでＬ/決定ボタンを押すと、回線を切断せずに印刷します。

5 [Ｌ/決定] を押す

●ダウンロードした印刷用データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。

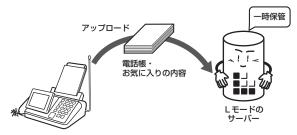
■ **印刷中に記録紙がつまったときは**

印刷中のデータは消去されます。
つまった記録紙を取り除いてから（☞8-7ページ）、再度プリントしてください。

お知らせ

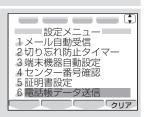
- コンテンツ印刷用にダウンロードしたデータは、画面に表示されません。
- ダウンロードしたデータに異常があると、正しくプリントできないことがあります。
- ダウンロードしたデータのサイズによっては、印刷に数分程度かかることがあります。
- コンテンツ印刷をするときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。
- プリント中は、子機の使用はできません。
- サイト内のファクス番号にダイヤルし、ファクスを受信するFAX TO機能（ファクス受信の通信料金が別途必要 ☞6-77ページ）とは異なり、Ｌモードの通信料金のみでご利用いただけます。

電話帳やお気に入りデータをアップロード（送信）する

親機に登録されている電話帳やお気に入りの内容をＬモードのサーバーに送信して一時保管することができます。（データアップロード）「Ｌモード」用端末の買い換えや修理のときに便利です。買い換えや修理後に一時保管したデータをダウンロード（☞6-75ページ）すると引き続き電話帳やお気に入りの登録内容をご利用になれます。

操作のしかた

（例）電話帳データをアップロードする場合

1 待機画面から
登録 を押し、
▲または▼で
「Ｌモード設定」を選ぶ

2 L/決定 を押し、
▲または▼で
「電話帳データ送信」を選ぶ

●お気に入りデータをアップロードするときは▲または▼で「お気に入りデータ送信」を選択してください。

3 L/決定 を押し、
「はい」を選ぶ

●Ｌ/決定ボタンを押したあと、「データがありません。」と表示されるときは、アップロードしようとした電話帳またはお気に入りデータが登録されていません。

4 L/決定 を押す

5 送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する
②Ｌ/決定ボタンを押す
③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する（メールアドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。）

●送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のアドレス）は、間違わないように入力してください。
お客様以外の方へ送信されることがあります。

6 入力が終わったら
L/決定 を押し、▲
または▼で
「OK」を選ぶ

7 L/決定 を押す

8 「Ｌモード」に接続され、データがアップロードされる

●Ｌ/決定ボタンを押すとトップメニューに戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
● アップロードしたデータを自動受信でダウンロードすると、データが消去されますのでご注意ください。データをアップロードしたあとは、必ずメール自動受信をしない設定にしてください。（☞6-32〜6-33ページ）

電話帳やお気に入りデータをダウンロード（受信）する

「Ｌモード」に保存している電話帳やお気に入りデータを、メールを受信する操作を行って親機にダウンロードします。

データをダウンロードするときは、必ず手動受信（☞6-34ページ）でダウンロードしてください。自動受信でダウンロードすると、Lモードのサーバーにアップロードしたデータが消去されます。（親機に登録されているデータは消えません。）
アップロードしたあとは、メール自動受信をしない設定にしてください。

操作のしかた

（例）電話帳データをダウンロードする場合

1 親機でメールを受信する操作を行う
（☞6-34ページ手順１～３）

2 「はい」を選んで L/決定 を押し、「はい」を選ぶ

3 L/決定 を押し、「はい」を選ぶ

●「いいえ」を選んでＬ/決定ボタンを押すと、データの削除確認画面が表示され、受信したデータを削除することができます。

4 L/決定 を押し、コピー元のアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する
②Ｌ/決定ボタンを押す
③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する
●アドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。

5 入力が終わったら L/決定 を押し、▲ または ▼ で「OK」を選ぶ

6 L/決定 を押す

●自動的にデータをダウンロードします。ダウンロードは、**１回のみ**です。ダウンロードをした後Ｌモードのサーバーに保存していたデータは自動的に削除されます。

7 「データ書込処理終了」と表示されたら、L/決定 を押す

●メールメニューに戻ります。

8 停止 を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

● 登録されている電話帳やお気に入りがあった場合、ダウンロードしたデータは追加されます。ただし、電話帳やお気に入りが一杯でダウンロードしたデータが追加できない場合、ダウンロードしたデータは追加されずに、削除されます。
● 受信した電話帳やお気に入りデータは受信メールに保存されません。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う

◆ PHONE TO： メールやサイト、画面メモ内にある、電話番号に簡単に電話をかけることができます。
◆ MAIL TO： メールやサイト、画面メモ内にある、メールアドレスにメールを送ることができます。
◆ FAX TO： メールやサイト、画面メモ内にある、FAX番号に接続しファクスを受信することができます。
◆ WEB TO： メールやサイト、画面メモ内にある、URL（アドレス）に接続しページを表示することができます。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えるのは、カーソルを移動したときに青色に反転する電話（ファクス）番号やURL（アドレス）などです。

PHONE TO機能を使う

受信メールやサイト内にある電話番号（青色に反転しているもの）に電話がかけられます。

- **▲または▼で電話番号を選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- **電話番号を確認してから操作してください。**自動的に電話番号にダイヤルします。
- 相手の方が出たら受話器を取ってお話しします。
- 通話が終わったら受話器を戻します。（待機画面が表示されます。）

MAIL TO機能を使う

受信メールやサイト内にあるメールアドレス（青色に反転しているものなど）あてのメールを作成できます。

- **▲または▼でメールアドレスを選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- 「送信メールが一杯です。」と表示されたときは、未送信メールと送信済メールが合わせて50件保存されていて、新しくメールを作成することができません。L/決定ボタンを押したあと不要な未送信メールまたは送信済メールを削除（☞6-49ページ）してからもう一度操作をやり直してください。
- メール作成画面が表示されたときは、メールアドレスがすでに入力された状態になっています。
- メールアドレス（宛先）を確認してから送信してください。（メールを作って送信する ☞6-24〜6-26ページ）

お知らせ

- サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合PHONE TO・MAIL TO機能は使えないことがあります。
- 発信後の通話には通話料金がかかります。
- PHONE TO 機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。
- PHONE TO 機能では、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

FAX TO機能を使う

受信メールやサイト内にあるファクス番号（青色に反転しているもの）に接続し、ファクスを受信できます。

- ▲または▼でファクス番号を選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。
- **ファクス番号を確認してから操作してください。**自動的にファクス番号にダイヤルします。
- ファクス受信時は原稿をセットしていない状態で操作してください。
- ファクス受信確認画面（[FAXスタート]を押します。）が表示されます。相手先につながってから FAXスタート を押すと、ファクスを受信します。受信が終わると待機画面が表示されます。

WEB TO機能を使う

受信メールやサイト内にあるURL（アドレス）を、▲または▼で選び、L/決定を押すと、ページが表示されます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■1つ前の画面に戻るときは（☞6-55ページ）

◀ が表示されているときに、◀ を押してください。ただし、受信メールを表示しているときに ◀ を押した場合は、１つ前に受信したメールが表示されます。

■ 「Ｌモード」を終了させるときは

停止 を押します。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

キャッチ/消去 を押します。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 表示したページを記録紙にプリントするには（☞6-72ページ）

お知らせ

- サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合、FAX TO・WEB TO機能は使えません。
- 発信後のファクス受信には通信料金がかかります。
- FAX TO 機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。
- FAX TO 機能では、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。